

令和 8 年度
通学路緊急対策及び県単交通安全対策合併工事（実歩道整備工その 2）

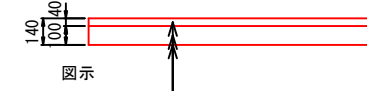
工事終点
No. 7+2.4



令和8年度			
路線河海名	主要地方道 長沼船橋線		
工事箇所	富志野市 美穂2丁目		
工事名	通学路緊急対策及び県交通安全対策合併工事 (美穂歩道整備工事の2)		
図面名	計画平面図		
年月日			
縮 尺	図示	図面番号	1 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

車道舗装(2)

步道舗装



表層再生密粒度As(13)	t= 40mm
路盤クラッシャーラン(RC-40)	t=100mm
土木透水シート	t=2mm

V=1:100
H=1:250



IP. 1
IA=1-03-20

IP. 2
1A=1-14-06

標高の基準面：TP 使用水準点：3N0.1 (GNSS観測標高値)

令和8年度
路線河海名 : 主要地方道 長沼船橋線
工事箇所 : 習志野市 実籾2丁目

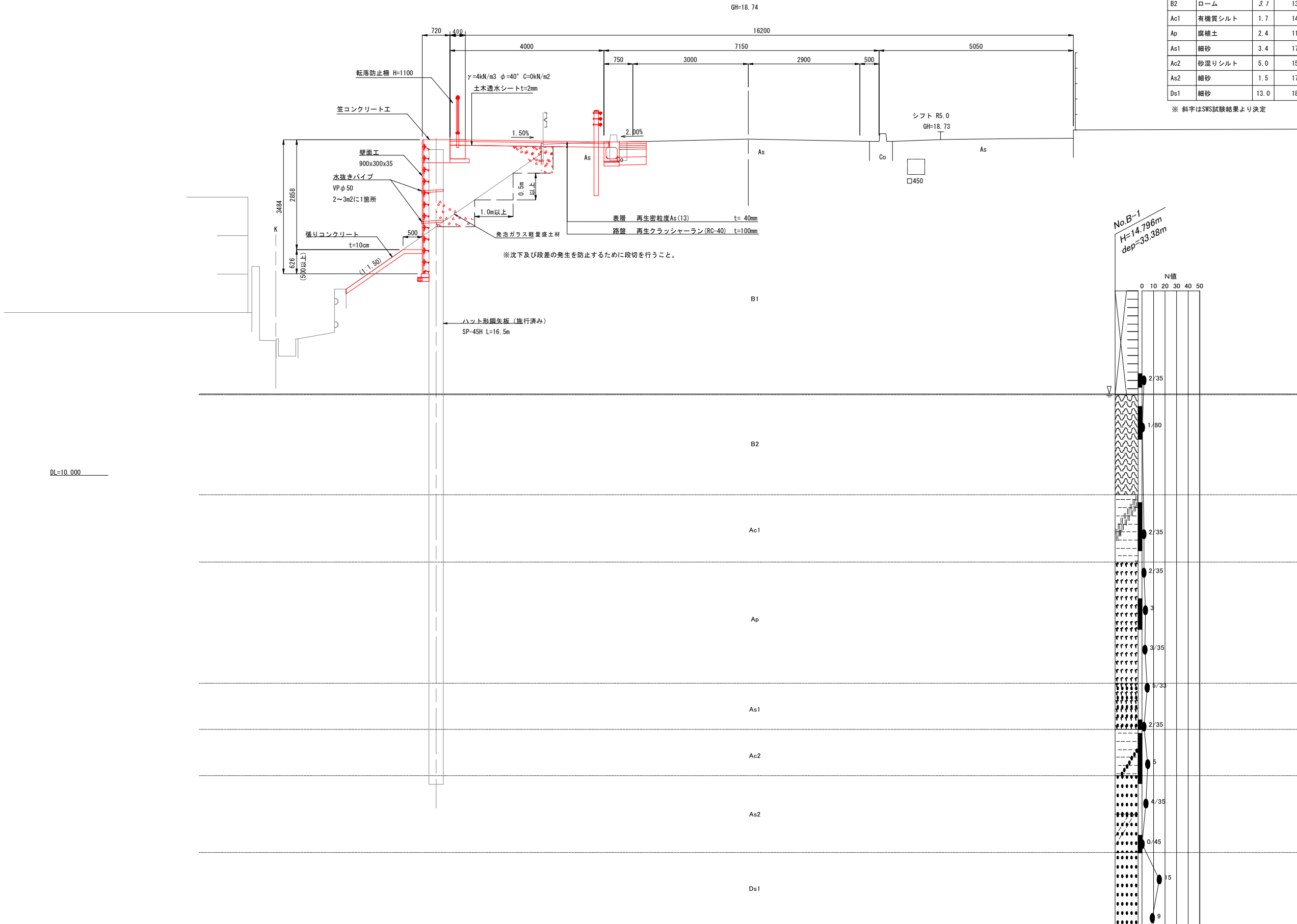
工事名	通学路緊急対策及び県道交通安全対策合併工事 (家路街道整備工その2)		
図面名	縦断面図		
年月日			
縮尺	V=1:100 H=1:250	図面番号	2 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

標準横断面図 S=1:50

土質定数

土質名		N値	単位体積 重量 γ t (kN/m3)	粘着力 C (kN/m2)	内部摩擦角 φ (°)	変形係数 E (kN/m2)
B1	砂質ローム	2.3	14.00	30.00	0	1,600
B2	ローム	3.1	13.00	22.00	0	2,100
Ac1	有機質シルト	1.7	14.00	30.00	0	1,100
Ap	腐植土	2.4	11.00	34.00	0	540
As1	細砂	3.4	17.00	0.00	20	1,600
Ac2	砂混りシルト	5.0	15.00	50.00	0	2,000
As2	細砂	1.5	17.00	0.00	20	1,100
Ds1	細砂	13.0	18.00	0.00	29	9,100

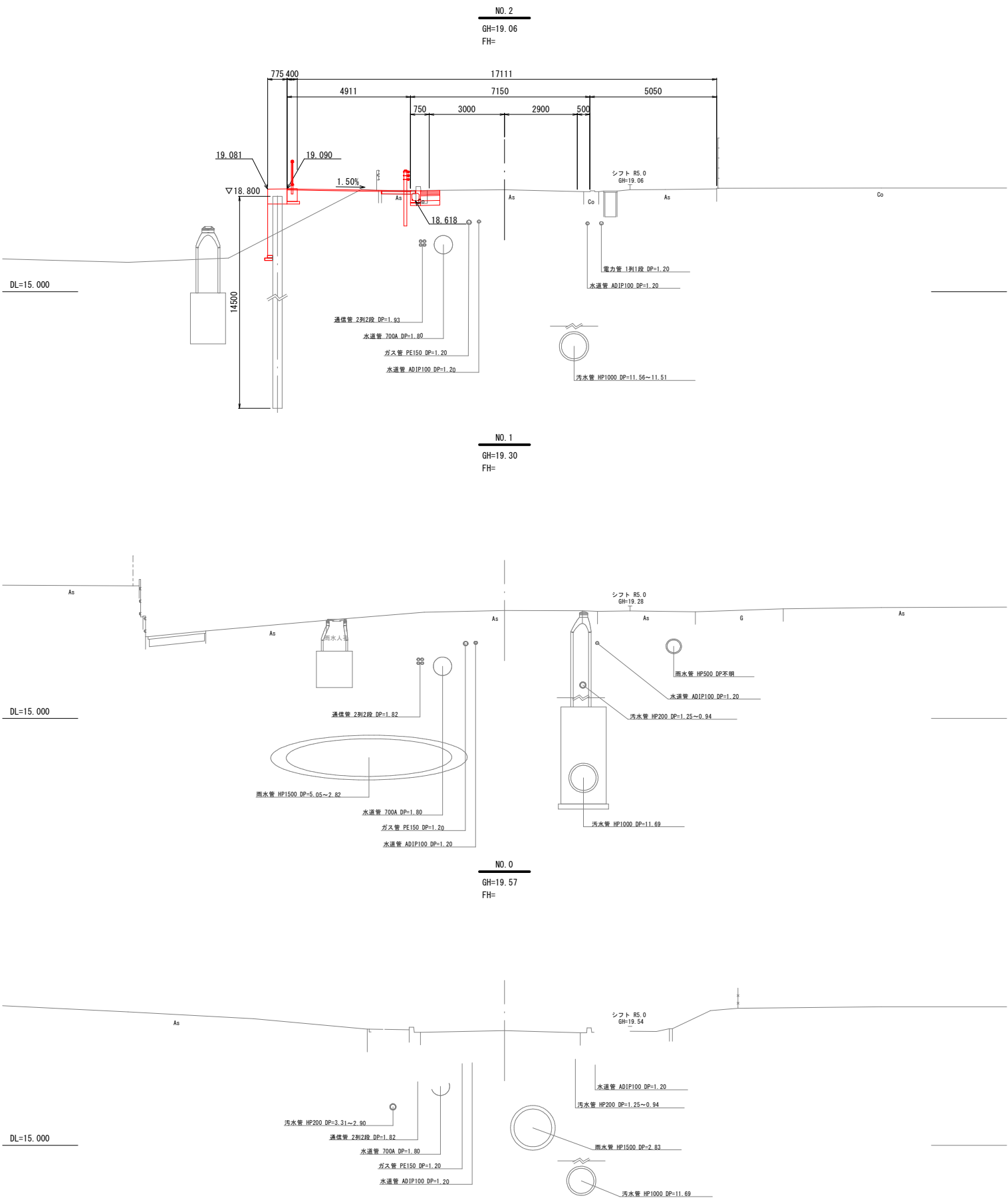
※ 斜字はSWS試験結果より決定



令和8年度
路線河海名 : 主要地方道 長沼船橋線
工事箇所 : 留志野市 実穂2丁目

工事名	通学路緊急対策及び県単交通安全対策合併工事 (実穂歩道整備工その2)		
図面名	標準横断面図		
年月日			
縮尺	S=1:50	図面番号	3 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

横断図(1) S=1:100

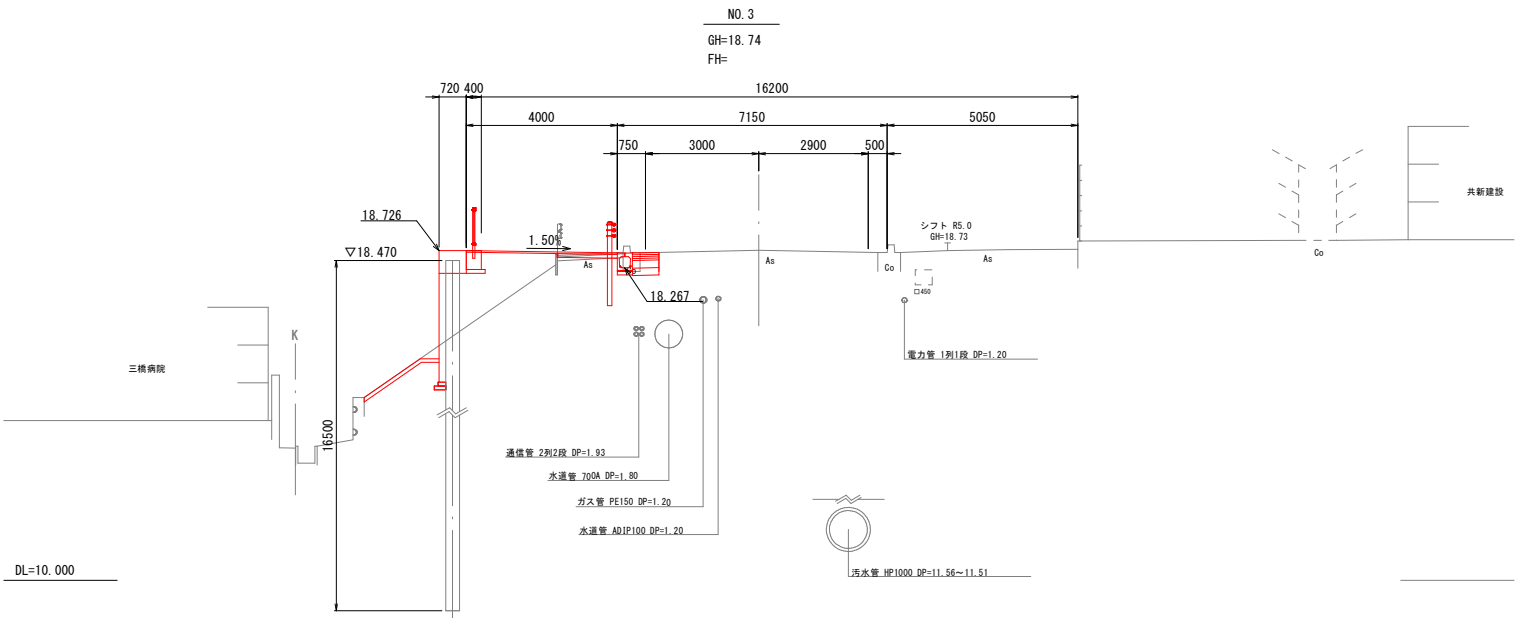
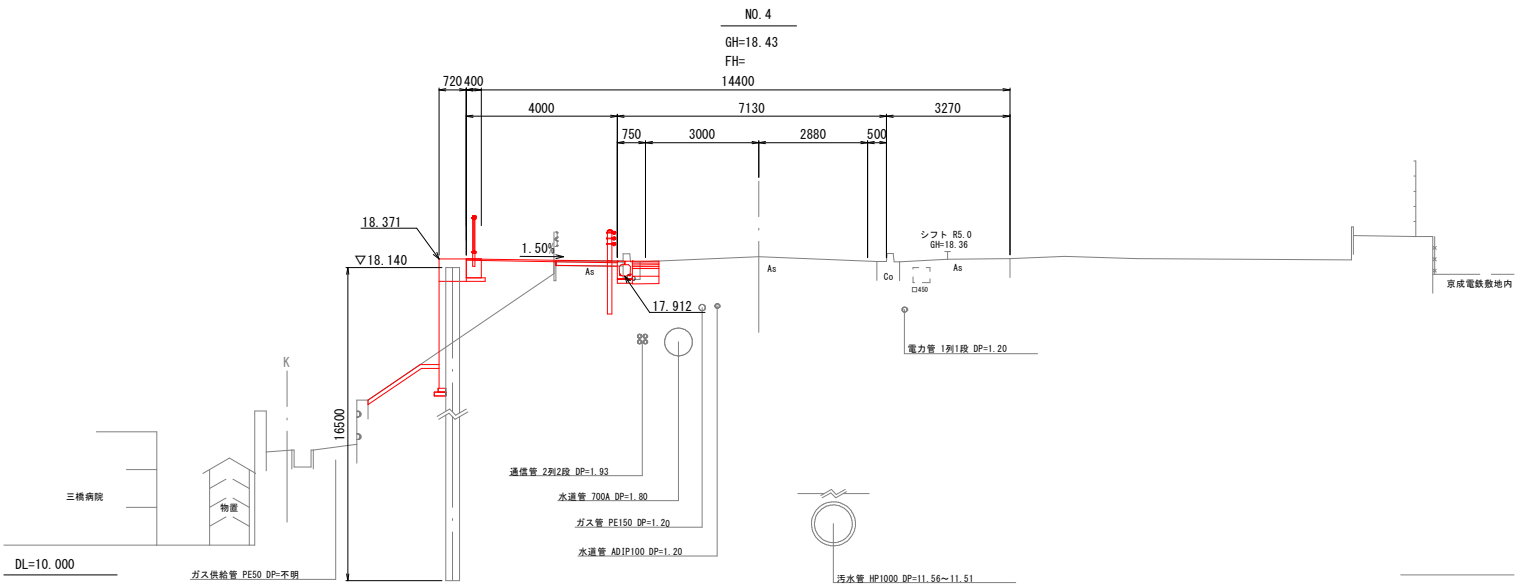
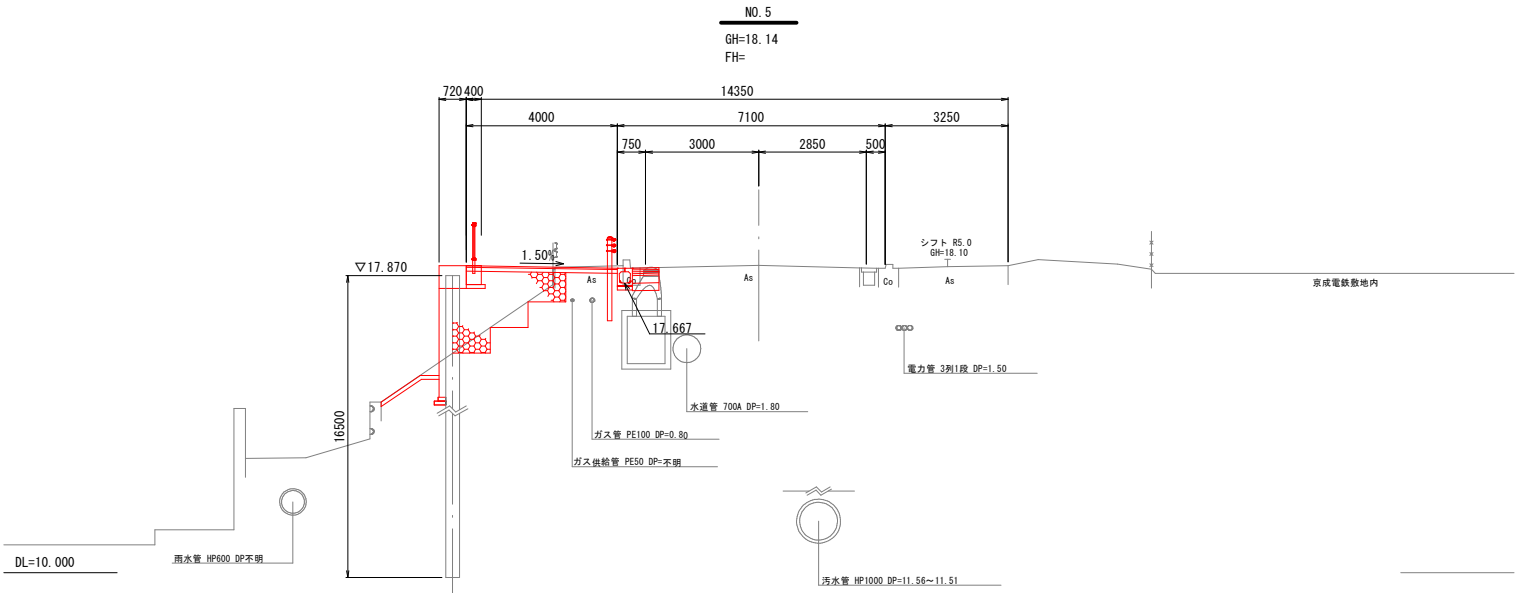


標高の基準面：T P 使用水準点：3NO.1 (GNSS観測標高値)

令和8年度				
路線河海名：主要地方道 長沼船橋線				
工事箇所：習志野市 実報2丁目				
工事名	通学路緊急対策及び県道交通安全対策合併工事 (実報歩道整備工その2)			
図面名	横断図(1)			
年月日				
縮尺	S=1:100	図面番号	4	/ 27
会社名				
事業者名	千葉県 千葉土木事務所			

横断図(2) S=1:100

凡例		種 別
摘要		
発泡ガラス軽量盛土材	W<2.5m	
発泡ガラス軽量盛土材	2.5m≦W<4.0m	



標高の基準面：T P 使用水準点：3NO.1 (GNSS観測標高値)

令和8年度			
路線河海名		：主要地方道 長沼船橋線	
工事箇所		：習志野市 栗根2丁目	
工事名	通学路緊急対策及び循環交通安全対策合併工事 (実勢歩道整備工その2)		
図面名	横断図(2)		
年月日			
縮 尺	S=1:100	図面番号	5 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

S=1 : 100

NO. 6+2. 308
GH=17.94
FH=



NO. 6
GH=17.92
FH=



NO. 5+3. 200
GH=18.07
FH=

DL=10.000

凡例

種 別	摘 要
	EPSブロック (D-25)
	EPSブロック (D-20)
	EPSブロック (D-16)
	発泡ガラス軽量盛土材 $W < 2.5m$
	発泡ガラス軽量盛土材 $2.5m \leq W < 4.0m$
	裏込砕石
	コンクリート床版

・発泡スチロール土木工法開発機構（EDO）の規格認定材料と同等品以上を使用すること。

令和8年度
路線河海名 : 主要地方道 長沼船橋線
工事箇所 : 習志野市 実碓2丁目

工事名	遠志路開闢対策及び県単交通安全対策合併工事 （美穂歩道整備工その２）		
図面名	横断面(3)		
年月日			
縮 尺	S=1:100	図面番号	6 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

S=1 : 100

NO. 6+9. 302
GH=17. 94
FH=



NO. 6+7. 000
GH=17. 94
FH=



NO. 6+5. 000
GH=17. 93
FH=



標高の基準面：TP 使用水準点：3N0.1 (GNSS観測標高値)

凡例

種 別	摘 要
	EPSブロック (D-25)
	EPSブロック (D-20)
	EPSブロック (D-16)
	発泡ガラス軽量盛土材 W<2.5m
	発泡ガラス軽量盛土材 2.5m≦W<4.0m
	裏込砕石
	コンクリート床版

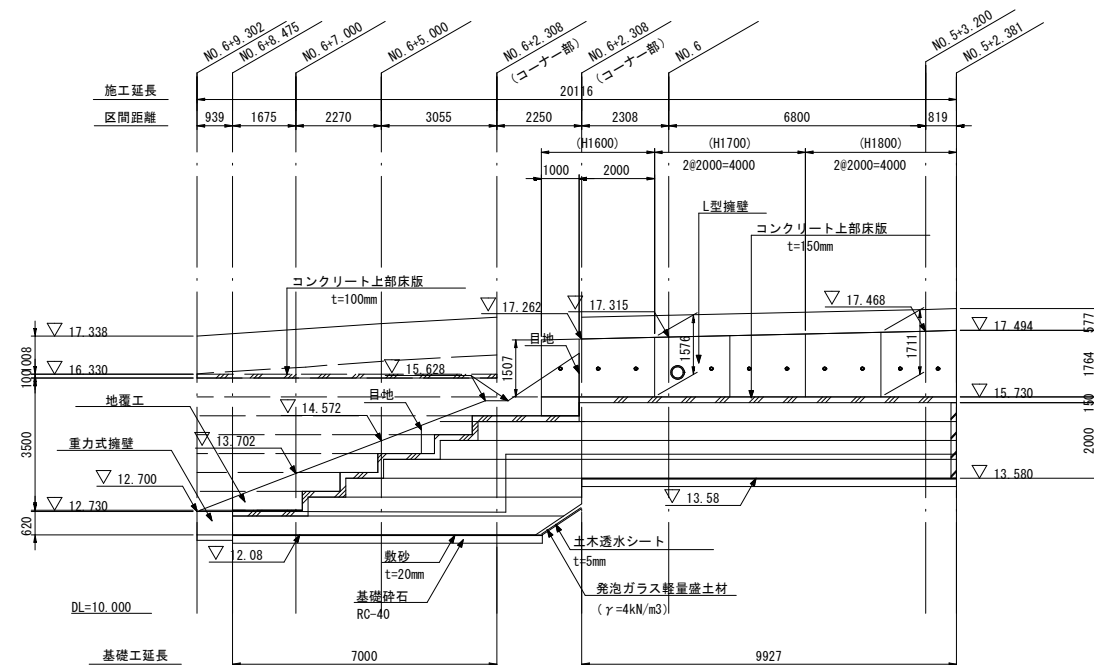
・発泡スチロール土木工法開発機構（EDO）の規格認定材料と同等品以上を使用すること。

令和8年度
路線河海名 : 主要地方道 長沼船橋線
工事箇所 : 習志野市 実籾2丁目

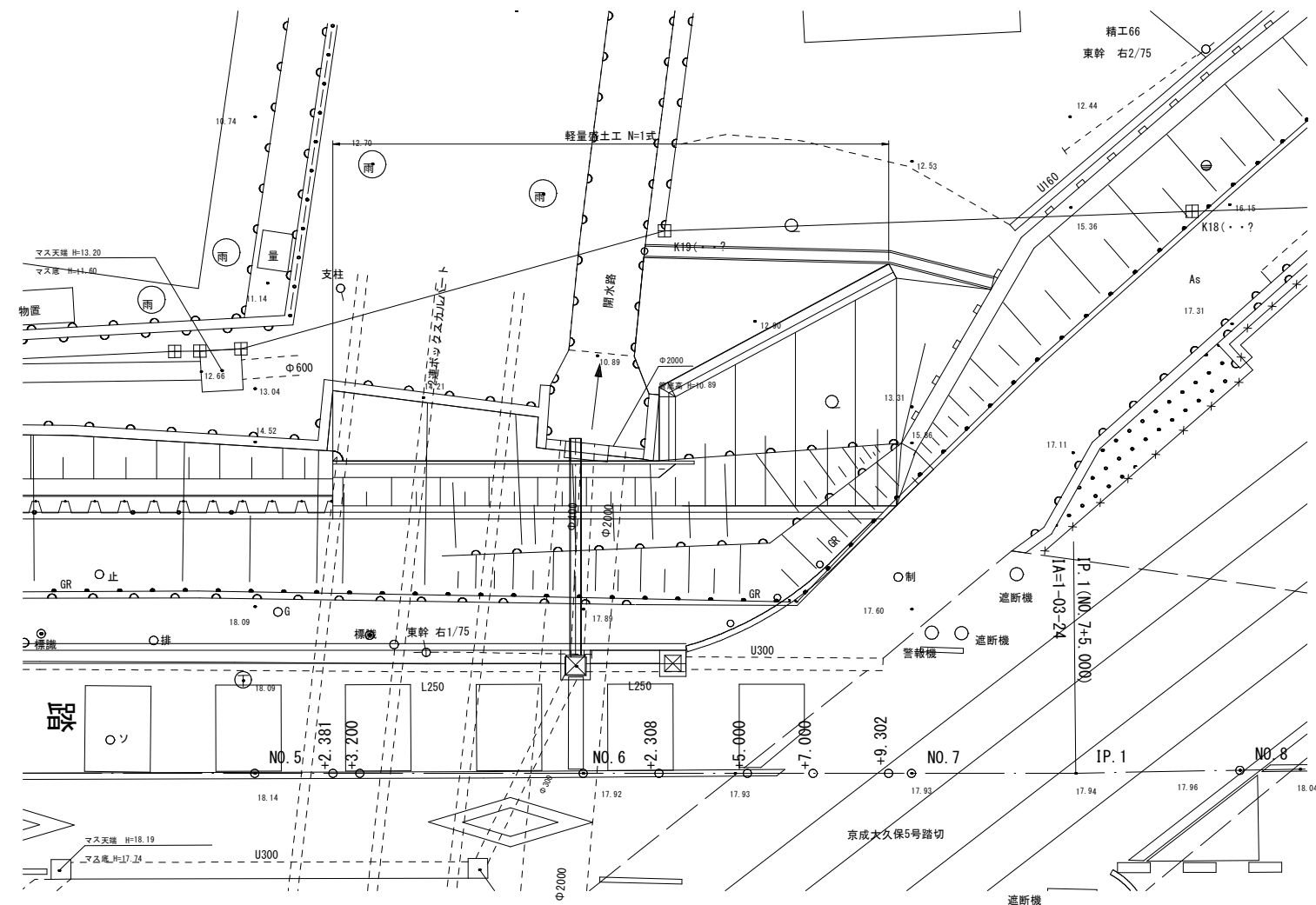
工事名	通常路緊急対応策Ⅰ(橋桁交通安全対策合併工事 (実働歩道掘削工事の2))		
図面名	横断面図(4)		
年月日			
縮尺	S=1:100	図面番号	7 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

輕量盛土工一般図

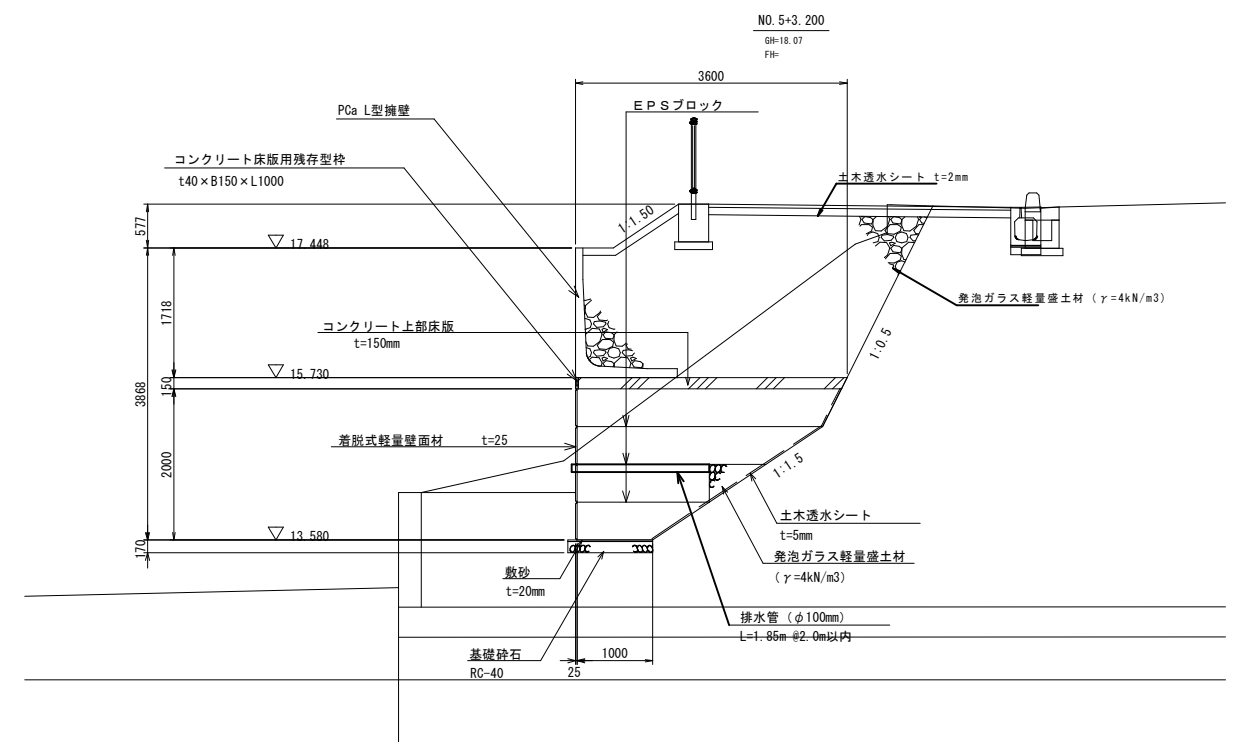
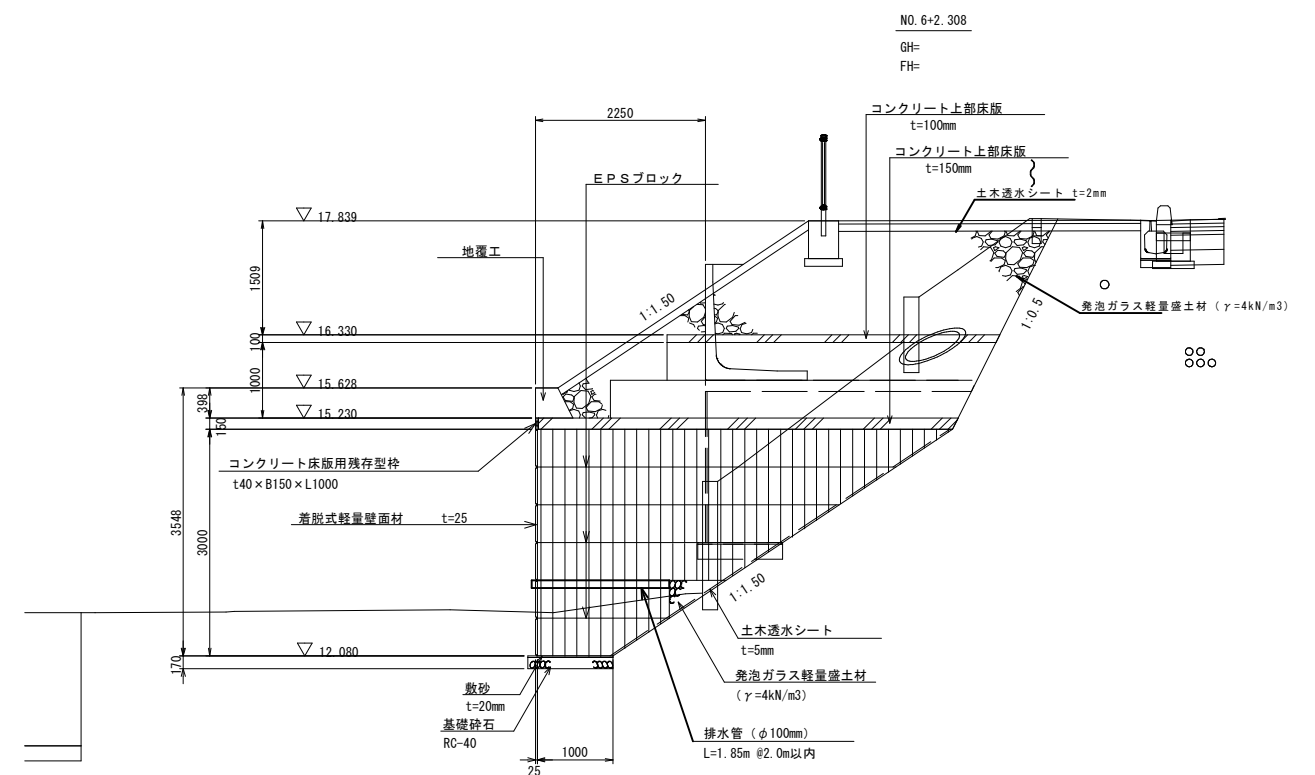
背面展開図 S=1:100



平面图 S=1:100



標準断面図 S=1:100



令和8年度			
路線河名： 主要地方道 長沼船橋線			
工事箇所： 翠志野帯 英穂辻丁目			
工事名	通学路緊急対策及びひき断り交通安全対策合併工事 (実施予定箇所三ヶ所)		
図面名	軽量盛土工一般図		
年月日			
縮 尺	図示	図面番号	8 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

S=1:50

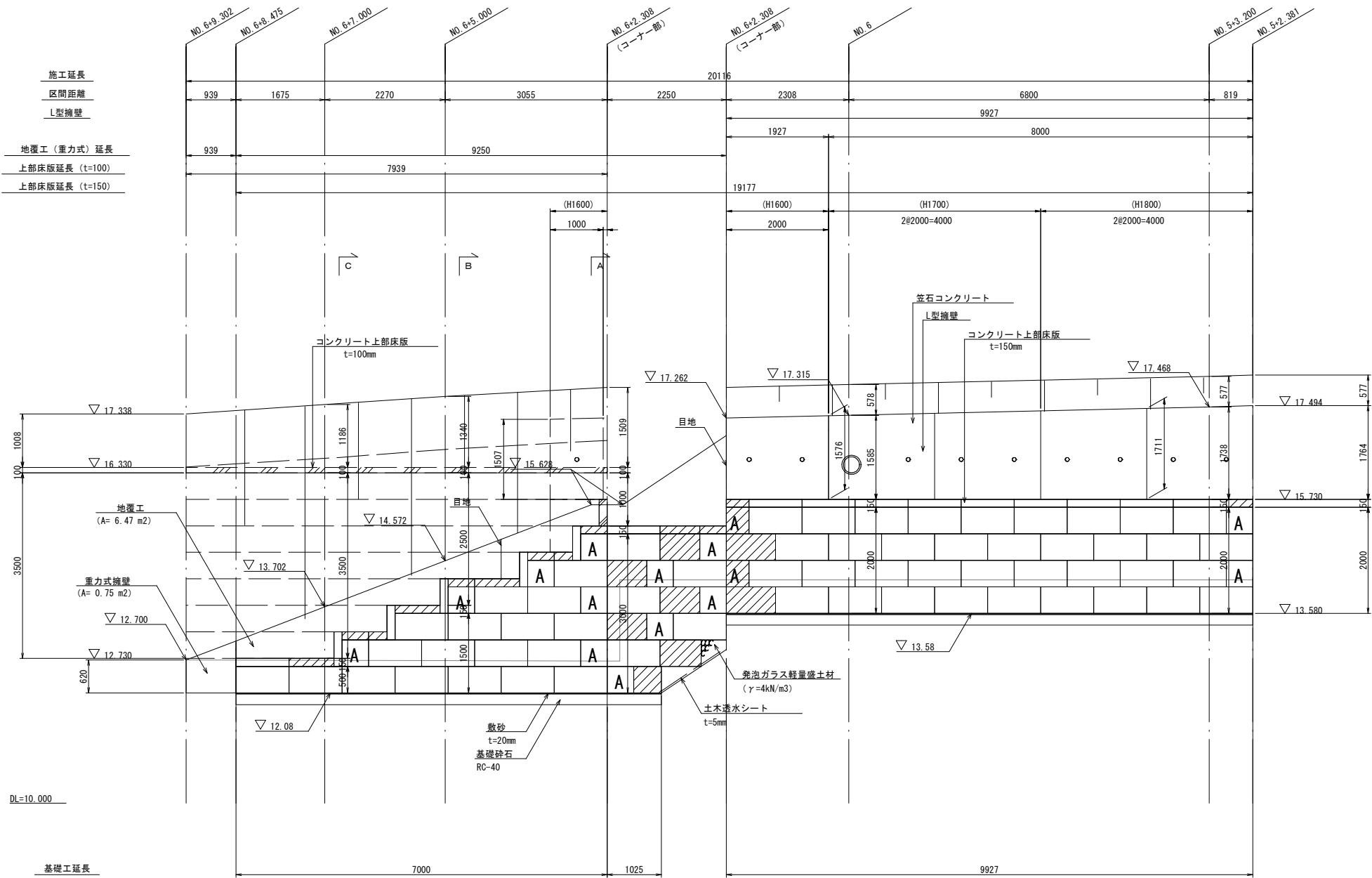
[illegible]

摘 要	種 別
EPSブロック (D-25)	
EPSブロック (D-20)	
EPSブロック (D-16)	

令和8年度			
路線河川名：主要地方道 長田和橋線			
工事箇所：青志野岳 突越2丁目			
工事名	通学路緊急対応策及び車道交通安全対策合併工事 (突越歩道直線工事の2)		
図面名	軽量盛土工展開図		
年月日			
縮尺	S=1:50	図面番号	9 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

軽量盛土工壁面展開図 S=1:50

背面展開図



軽量盛土擁壁 壁面材 数量表

名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要
着脱式軽量壁面材 □	480 × 980 × 25 (mm)	枚	67	QLW-P1
着脱式軽量壁面材 A	480 × 480 × 25 (mm)	枚	15	QLW-P2

※ 斜縁部の残存型枠は、現場にて延長調整加工。

軽量盛土擁壁 コンクリート床版用残存型枠 数量表

名 称	形状寸法	単 位	数 量	摘 要
上部床版用 □	150 × 1000 × 40(mm)	枚	24	S1
上部床版段差用 □	150 × 650 × 40(mm)	枚	5	S2-650

※ 斜縁部の残存型枠は、現場にて延長調整加工。

令和8年度 路線河海名 : 主要地方道 長沼船橋線 工事箇所 : 習志野市 栗根2丁目 通学路緊急対策及び高齢者交通安全対策合併工事 (実勢歩道整備工その2)				
工事名	軽量盛土工壁面展開図			
図面名				
年月日				
縮 尺	S=1:50	図面番号	10	／ 27
会社名				
事業者名	千葉県 千葉土木事務所			

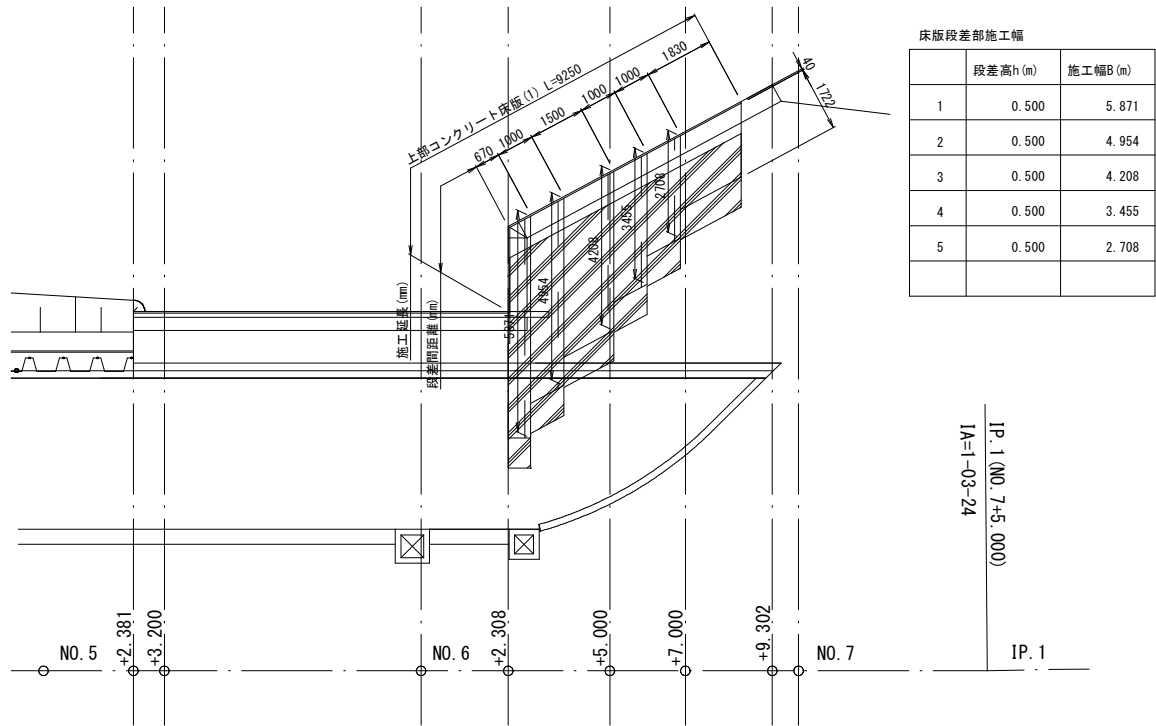
コンクリート床版平面図

S=1:100

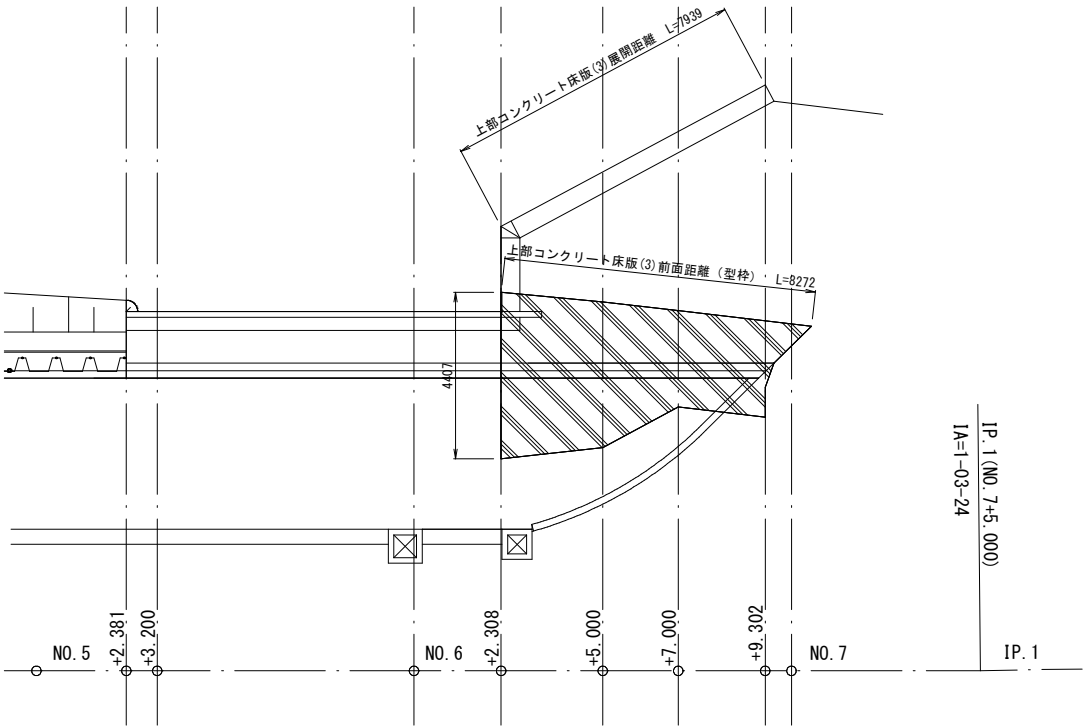
凡 例

- コンクリート床版 t=150mm
- コンクリート床版 t=100mm

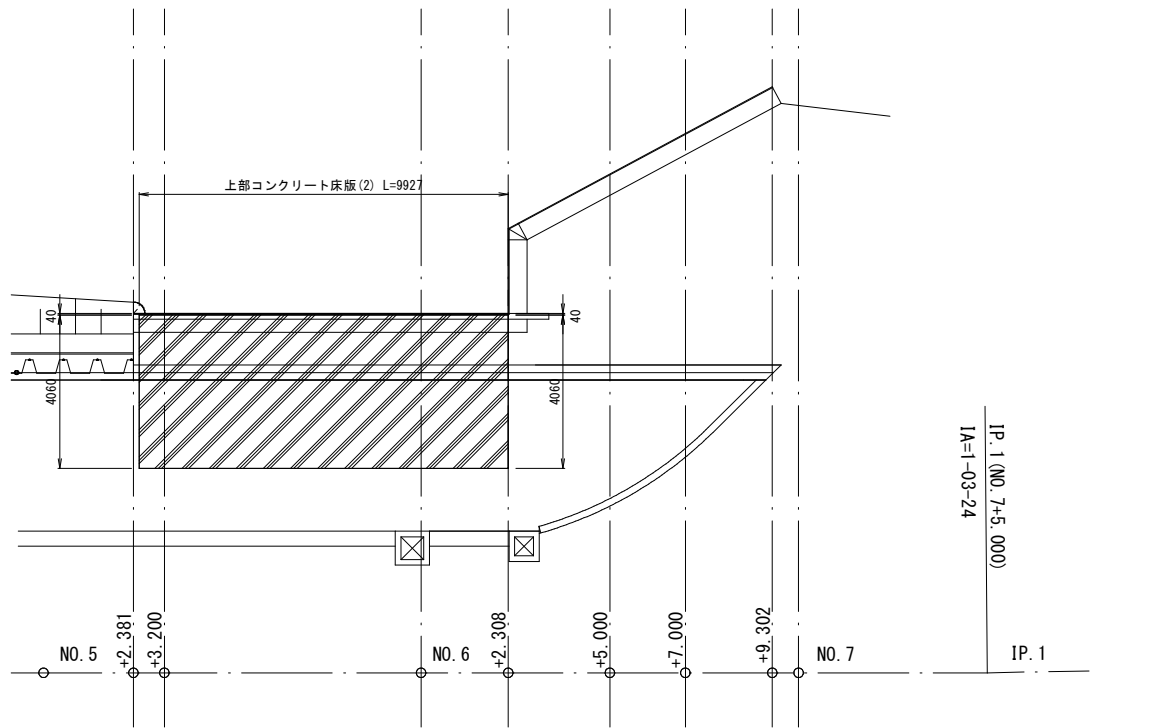
上部コンクリート床版(1)



上部コンクリート床版(3)



上部コンクリート床版(2)



上部コンクリート床版(1) 数量表

項 目	単 位	項 目	摘 要
施工延長	m	9.250	
施工上面高	m	▽12.730~▽15.230	
施工厚	mm	150	
施工平面積	m ²	21.79	
床版工段差箇所数			
h=500mm	箇所	5	合計施工幅 B = 21.196 m

上部コンクリート床版(2) 数量表

項 目	単 位	項 目	摘 要
施工延長	m	9.927	
施工上面高	m	▽15.730	
施工厚	mm	150	
施工平面積	m ²	39.69	

上部コンクリート床版(3) 数量表

項 目	単 位	項 目	摘 要
施工延長(展開距離)	m	7.939	
施工上面高	m	▽16.330	
施工厚	mm	100	
施工平面積	m ²	24.29	

令和8年度
路線河海名 : 主要地方道 長沼船橋線
工事箇所 : 習志野市 栗根2丁目

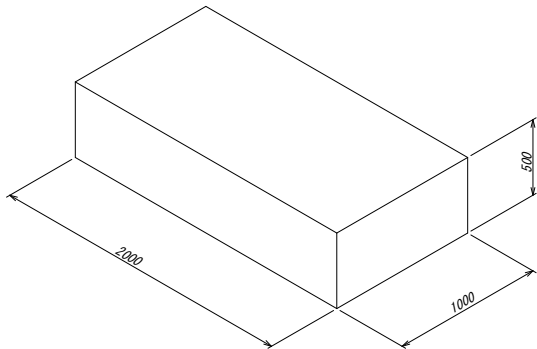
工事名	通学路緊急対策及び県単交通安全対策合併工事 (実務歩道整備工その2)		
図面名	コンクリート床版平面図		
年月日			
縮 尺	S=1:100	図面番号	11 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

軽量盛土工構造図(1)

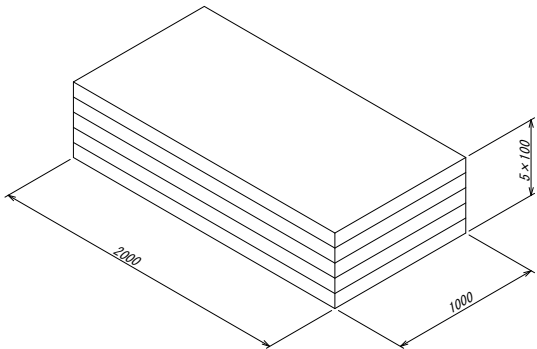
(EPS工詳細図)

EPSブロックの基本形状・物性規格

S=1:25



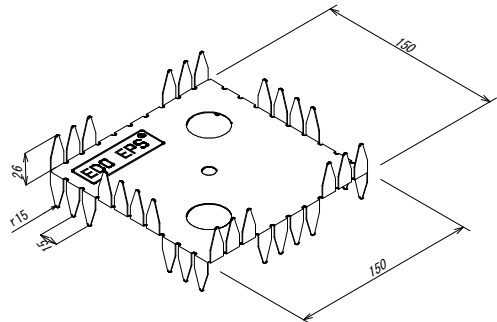
型内発泡法 EPSブロック



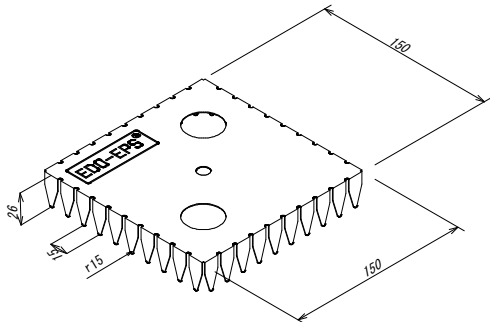
押出发泡法 EPSブロック

緊結金具詳細図

両爪型



片爪型



EPSブロック物性表

項 目	単 位	EPSブロック種別									試験方法
		型内発泡法						押出发泡法			
		D-35	D-30	D-25	D-20	D-16	D-12	DX-35	DX-29	DX-24H	
単位体積重量	kN／m ³	0.35 ^{+0.030} _{-0.020}	0.30 ^{+0.030} _{-0.020}	0.25 ^{+0.020} _{-0.015}	0.20 ^{+0.020} _{-0.010}	0.16 ^{+0.020} _{-0.010}	0.12 ^{+0.020} _{-0.010}	0.35±0.030	0.29 ^{+0.030} _{-0.020}	0.24 ^{+0.030} _{-0.010}	JIS K 7222
圧 縮 強 度	kN／m ²	220以上	180以上	140以上	100以上	70以上	40以上	400以上	280以上	200以上	降伏ひずみ時もしくは 10%ひずみ時
許容圧縮応力度	kN／m ²	110	90	70	50	35	20	200	140	100	圧縮弾性領域
・発泡スチロール土木工法開発機構（EDO）の規格認定材料と同等品以上を使用する											
・ は、本設計で使用するEPSブロックを示す。											

材料物性表

種 類	めっき付着量			引張試験値	
	両面等厚めっきの最小付着量（両面の合計 g/m） ²			降伏点 N/mm ²	引張強さ N/mm ²
	記 号	3点平均の最小付着量	1点の最小付着量		
高強度一般用	AZ150	150	130	295以上	400以上
・発泡スチロール土木工法開発機構（EDO）が指定した金具と同等品以上を使用する					

緊結金具の設置数

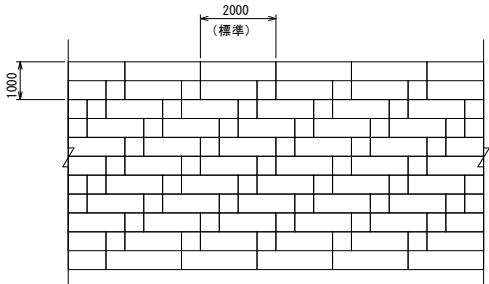
条 件	ブロックサイズ	個 数	摘 要
1m ² あたり	—	1.15	
1m ³ あたり	2.0m×1.0m×0.5m	2.30	

- ・ 緊結金具の個数は、ロス分を含んだ数量とする。
- ・ 切断加工したブロックには、1ブロックあたり1個ないし2個使用とする。
- ・ 発泡スチロール土木工法開発機構（EDO）が指定した金具と同等品以上を使用する事。

EPSブロック配置の参考例

S=1:100

平 面 図



- [] : 上層ステージ
[] : 下層ステージ

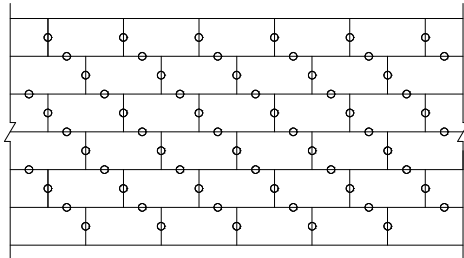
特記事項

- 本工事の軽量盛土工法
(1) 本工事における軽量盛土工は、契約図書に示す構造条件等に対し、「EDO-EPS工法 設計・施工基準書（2019年5月 発泡スチロール土木工法開発機構）」（以下、「基準書」と示す）」により決定している。
(2) 本工事に施工に際し、上記1. (1)によらず別の軽量盛土工法を採用しようとする場合は、事前に監督職員の承諾を得なければならない。
- 使用材料
(1) 発泡スチロールブロックについては、「基準書」第3章 材料 3. 2 EDO-EPSブロックに示される材料特性を満足するものとする。
(2) 緊結金具については、地震時における軽量盛土体に作用する水平力に対し、発泡スチロールブロックの結合性能が金具のせん断抵抗力により確保できる機能を有するものとする。
- 施工管理方法
本工事における軽量盛土工の施工管理については、「施工管理基準」の他、「基準書」第6章 施工によるものとする。

緊結金具の設置例

S=1:100

平 面 図



- 緊結金具

令和8年度
路線河海名 : 主要地方道 長沼船橋線
工事箇所 : 習志野市 栗根2丁目

工事名	通学路緊急対策及び県単交通安全対策合併工事 (実報歩道整備工その2)		
図面名	軽量盛土工構造図(1)		
年月日			
縮 尺	図示	図面番号	12 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

軽量盛土工構造図(2)

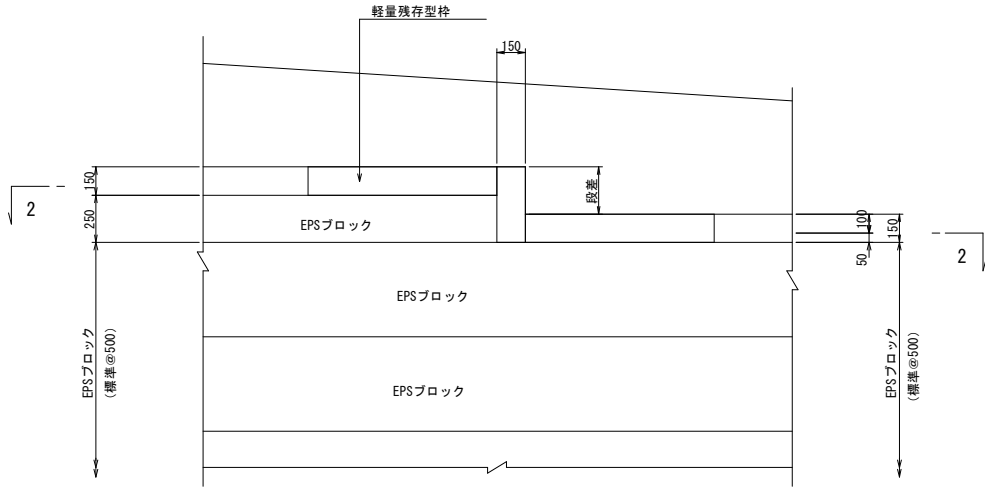
(床版工詳細図-1)

コンクリート床版 (t=150)

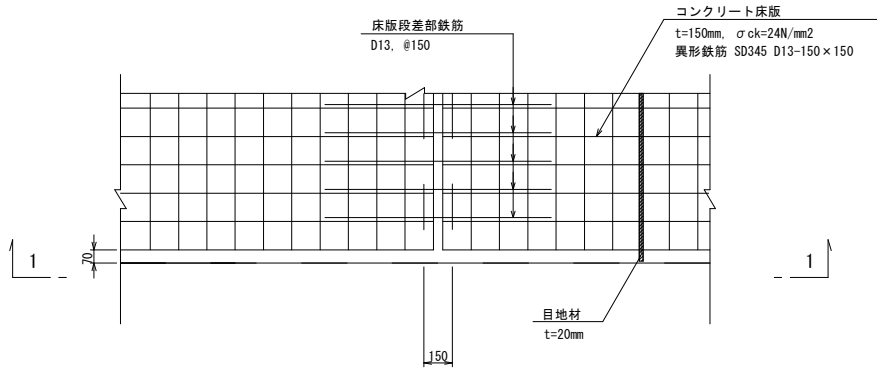
(上部コンクリート床版)

S=1:20

正面図
1 - 1



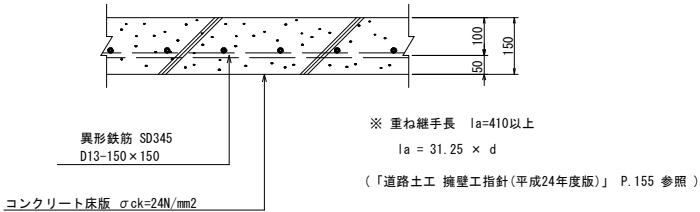
2 - 2



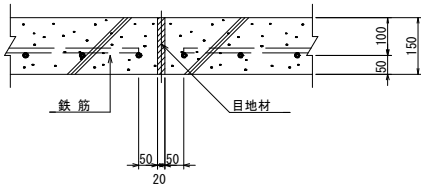
コンクリート床版工

S=1:10

(横断方向)
床版 (t=150) (断面)

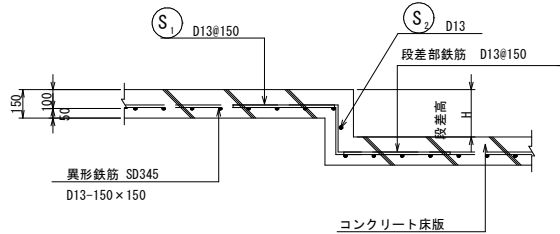


(縦断方向)
伸縮目地詳細図



コンクリート床版段差部

S=1:20



段差部鉄筋加工表 (段差H=500)

段差奥行き10.0m当り

形式 1								
種 別	形 式	径	本 数 (本)	長 さ (mm)	L1 (mm)	L2 (mm)	L3 (mm)	L4 (mm)
S1	1	D13	67	1700	500	600	600	
S2	2	D13	3	10000	10000			
形式 2								
種 別	形 式	径	本 数 (本)	長 さ (mm)	L1 (mm)	L2 (mm)	L3 (mm)	L4 (mm)
S1	1	D13	67	1700	500	600	600	
S2	2	D13	3	10000	10000			
段差部鉄筋質量表								
種 別	径	長 さ (mm)	本 数 (本)	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要	
S1	D13	1700	67	0.995	1.692	113.364		
S2	D13	10000	3	0.995	9.950	29.850		
総質量 D13						143.214 kg		

※ 重ね継手長 (同一箇所) la=530以上
la = 31.25 × d × 1.3

(「道路土工 擁壁工指針(平成24年度版)」 P.155 参照)

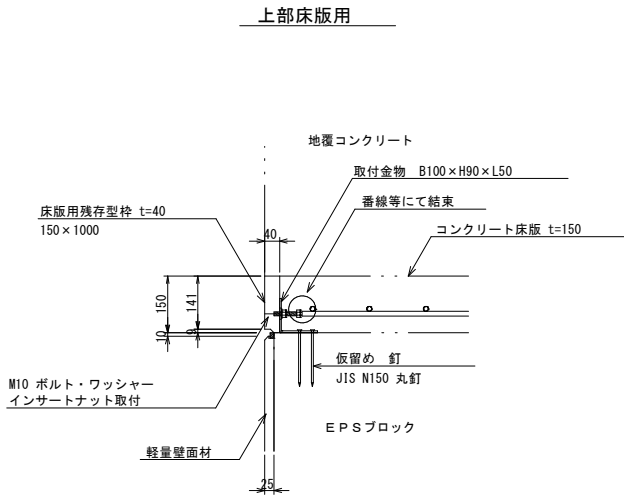
令和8年度
路線河海名 : 主要地方道 長沼船橋線
工事箇所 : 習志野市 栗根2丁目

工事名	通学路緊急対策及び県単交通安全対策合併工事 (栗根歩道整備工その2)		
図面名	軽量盛土工構造図(2)		
年月日			
縮 尺	図示	図面番号	13 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

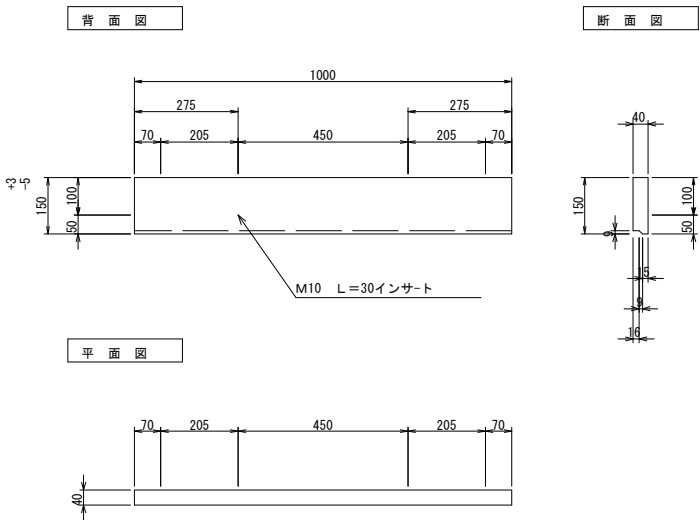
軽量盛土工構造図(3)

(床版工詳細図-2)

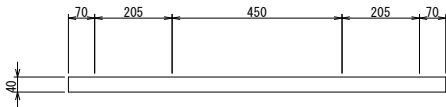
床版用残存型枠取付詳細図 S=1:10



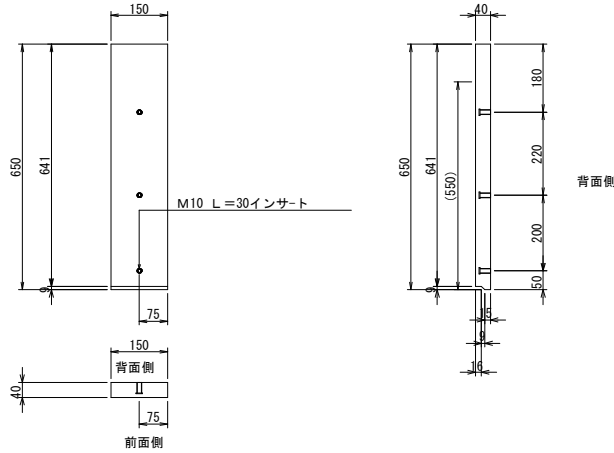
軽量残存型枠 S=1:10
S 1 <基本>



平面図



軽量残存型枠 S=1:10
S 2 -650<段落>



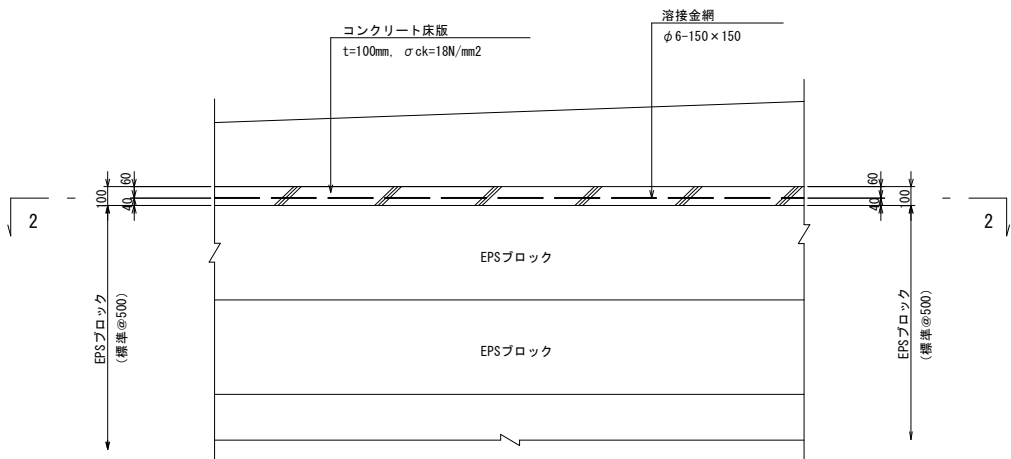
令和8年度			
路線河海名 : 主要地方道 長沼船橋線			
工事箇所 : 習志野市 栗根2丁目			
工事名	通学路緊急対策及び風景交通安全対策合併工事 (栗根歩道整備工その2)		
図面名	軽量盛土工構造図(3)		
年月日			
縮 尺	図示	図面番号	14 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

軽量盛土工構造図(4)

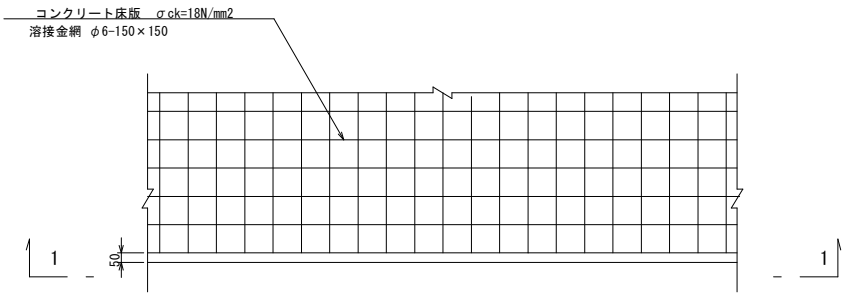
(コンクリート床版工詳細図)

コンクリート床版 (t=100) S=1:20
(上部コンクリート床版)

正面図
1 - 1

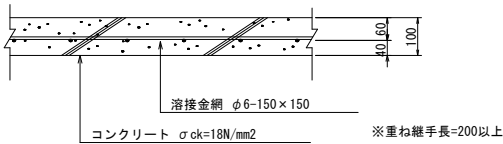


2 - 2

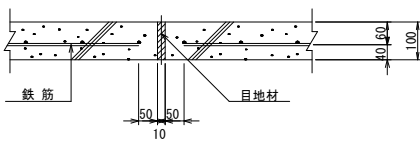


コンクリート床版工 S=1:10

床版 (t=100) (断面)



伸縮目地詳細図



令和8年度			
路線河海名 : 主要地方道 長沼船橋線			
工事箇所 : 習志野市 栗根2丁目			
工事名	通学路緊急対策及び商業交通安全対策合併工事 (実報歩道整備工その2)		
図面名	軽量盛土工構造図(4)		
年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	15 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

軽量盛土工構造図(5)

(壁面工詳細図)

着脱式軽量壁面詳細図

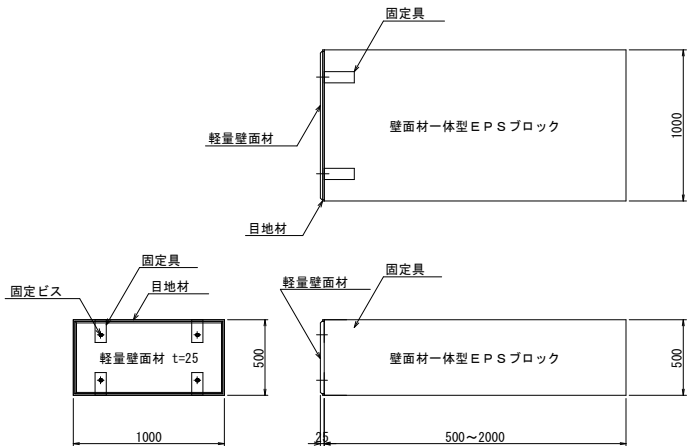
(軽量壁面材 t=25mm)

EPSブロック基本形状寸法図

S=1:25

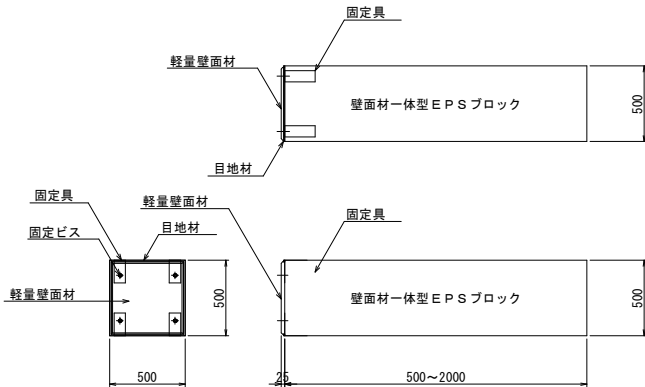
QLW-P1（壁面材付）

<480×980×25>



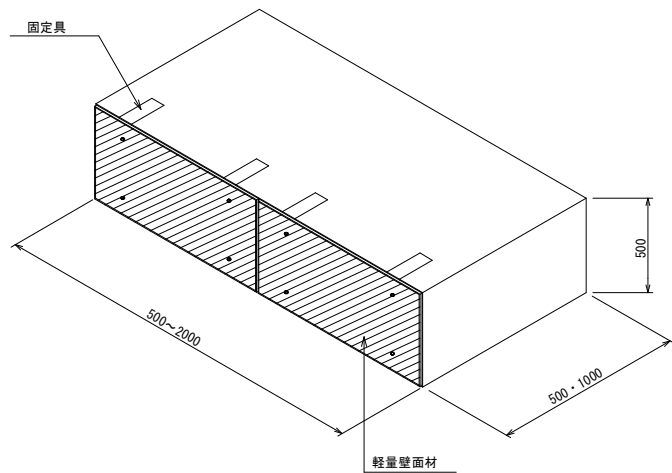
QLW-P2（壁面材付）

<480×480×25>



壁面材付EPSブロック基本形状俯瞰図

S=1:20



■着脱式軽量壁面材の加工について

傾斜部、延長調整等で、壁面材を現場合わせ切断加工しなければならない場合、着脱式軽量壁面材は無筋コンクリート製のため、丸のこ・グラインダー等で簡単に切断加工可能。ダイヤモンド刃で行うと切断もスムーズに行うことができる。

■壁面材の取付について

壁面材は長手方向（2000×500）の面だけでなく、短手方向（1000×500）にも取付が出来る。

着脱式軽量壁面材 数量表

	幅 B (m)	高 さ H (m)	壁面材枚数 N(枚)	摘 要
無印	1.000	0.500	67	QLW-P1
㊦	0.500	0.500	15	QLW-P2
合計			82	

※ 各壁面材の設置位置については、「壁面工展開図」を参照の事。

令和8年度
路線河海名 : 主要地方道 長沼船橋線
工事箇所 : 習志野市 栗根2丁目

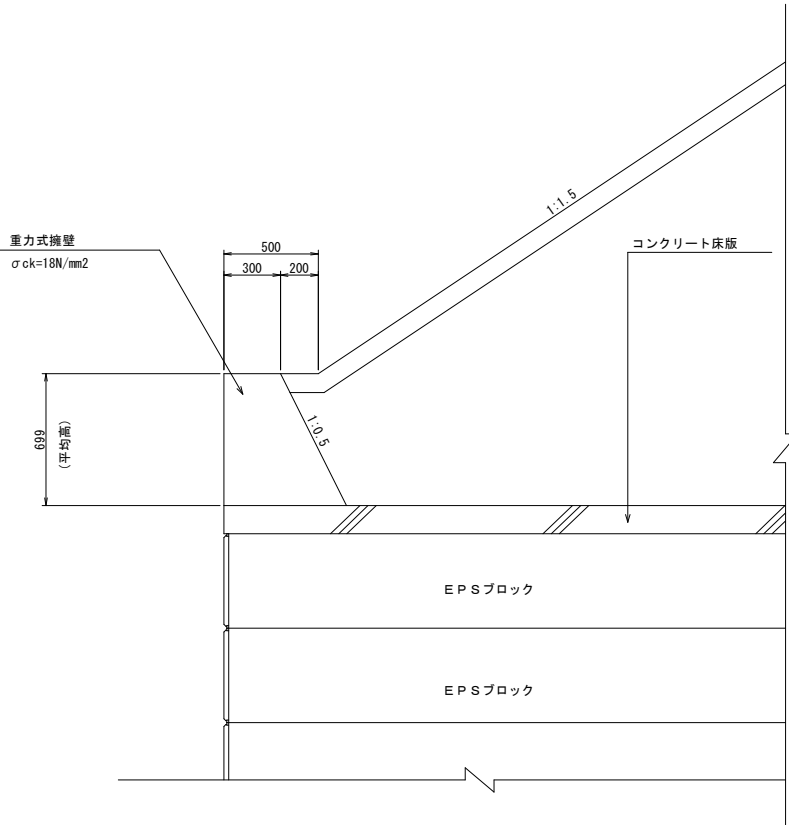
工事名	通学路彩色対策及び高齢交通安全対策合併工事 (実勢歩道整備工その2)		
図面名	軽量盛土工構造図(5)		
年月日			
縮 尺	図示	図面番号	16 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

軽量盛土工構造図(6)

(地覆工等詳細図)

重力式擁壁 S=1:20

断面図

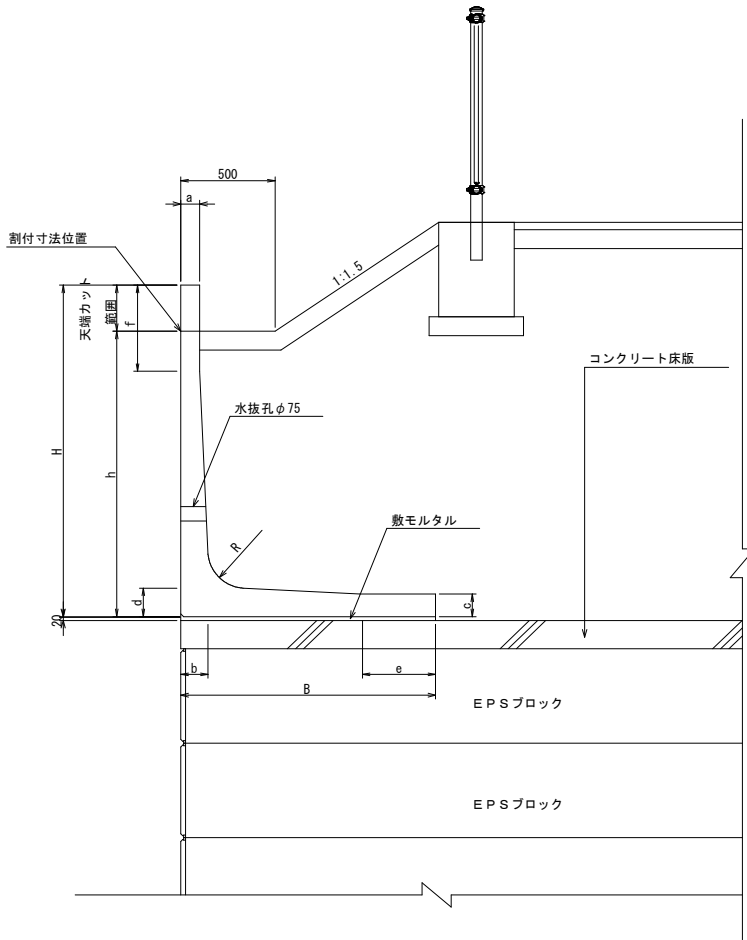


形状寸法表

		摘要
重力式擁壁		
施工延長 L (m)	9.25	
展開面積 A (m2)	6.47	展開面積は、CADより求積
平均壁高 h (m)	0.699	= 展開面積 / 施工延長

PCa L型擁壁 S=1:20

断面図



寸法表

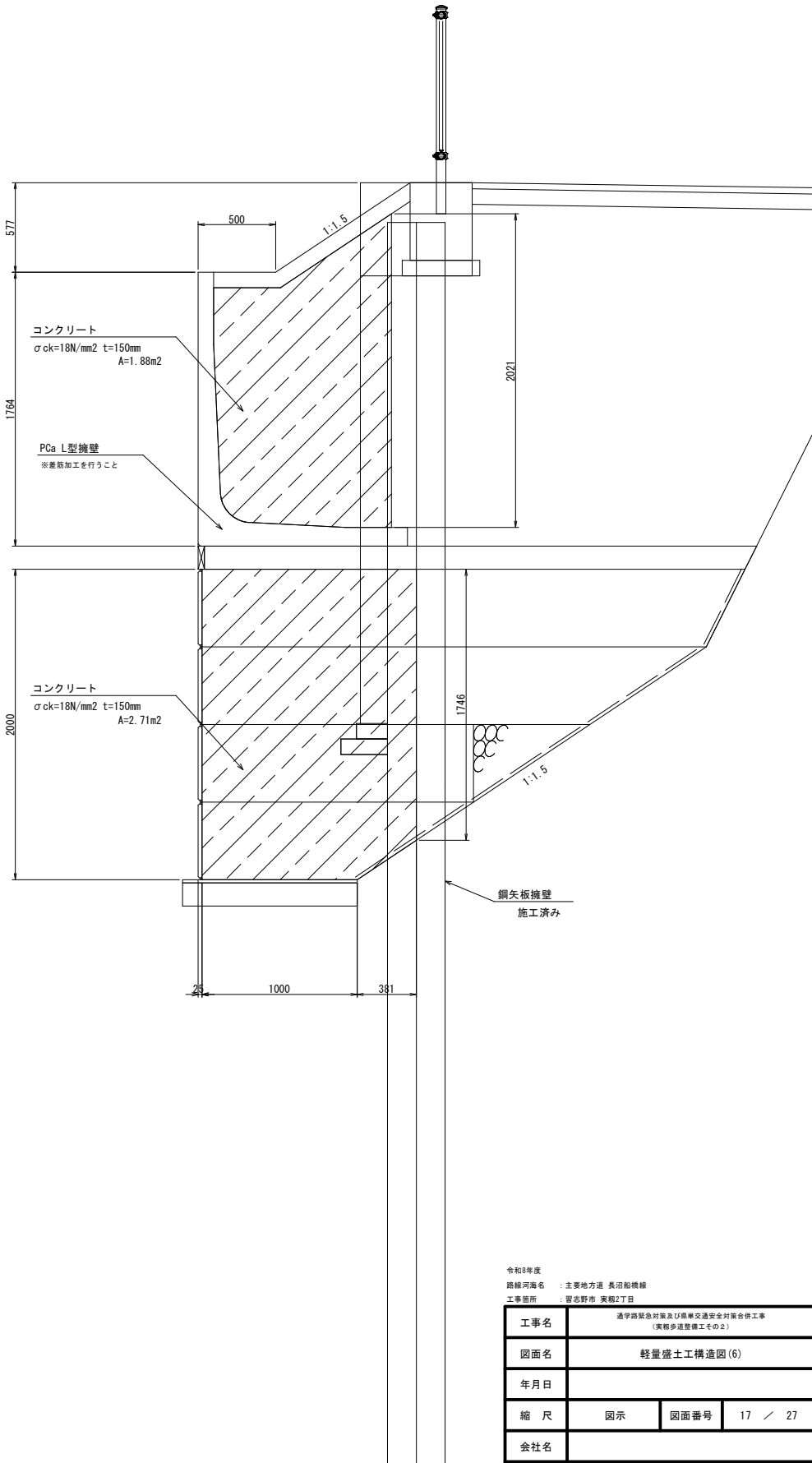
PCa L型擁壁								
H	B	a	b	c	d	e	f	R
1600	1250	100	140	120	160	300	300	200
1600	1250		140	120	160	300	300	200
1700	1300		140	120	160	350	400	200
1800	1350		140	120	160	400	500	200

数量表

PCa L型擁壁				
H	B	製品タイプ	製品長	本数
1600	1250	調整品(天斜)	L=1000	1
		標準品(天斜)	L=2000	1
1700	1300	標準品(天斜)	L=2000	2
1800	1350	標準品(天斜)	L=2000	2
合計				6

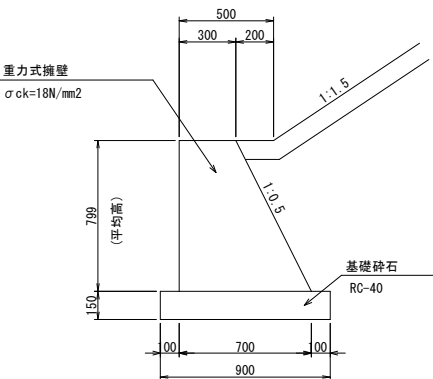
小口止めコンクリート S=1:20

断面図



端部 S=1:20

断面図



形状寸法表

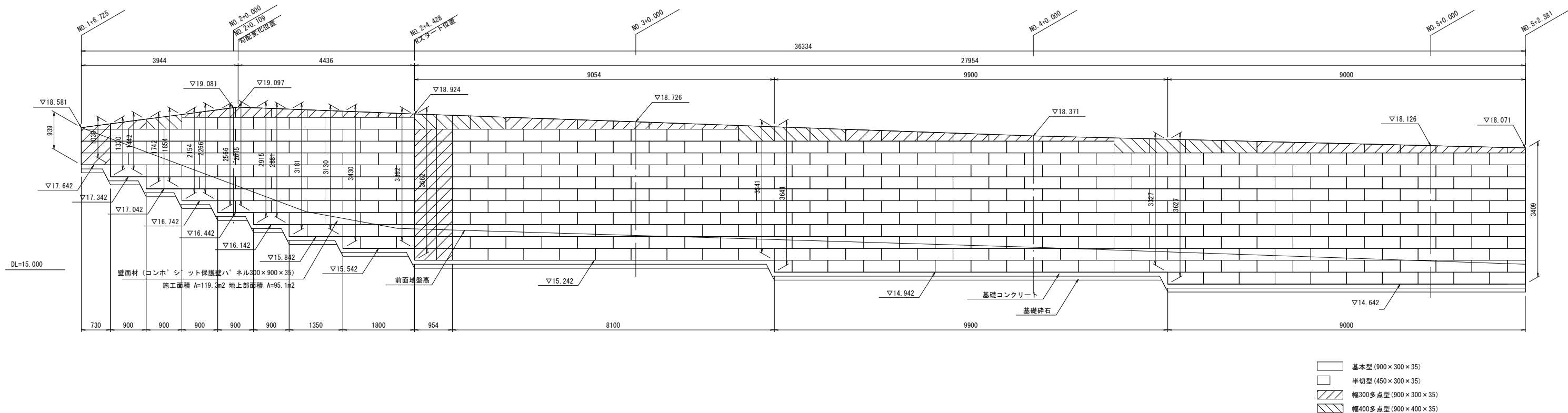
		摘要
重力式擁壁		
施工延長 L (m)	0.939	
展開面積 A (m2)	0.75	展開面積は、CADより求積
平均壁高 h (m)	0.799	= 展開面積 / 施工延長

令和8年度
路線河海名 : 主要地方道 長沼船橋線
工事箇所 : 習志野市 栗根2丁目
(栗根歩道整備工その2)

工事名	通学路緊急対策及び県道交通安全対策合併工事		
図面名	軽量盛土工構造図(6)		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	17 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

壁面工詳細図

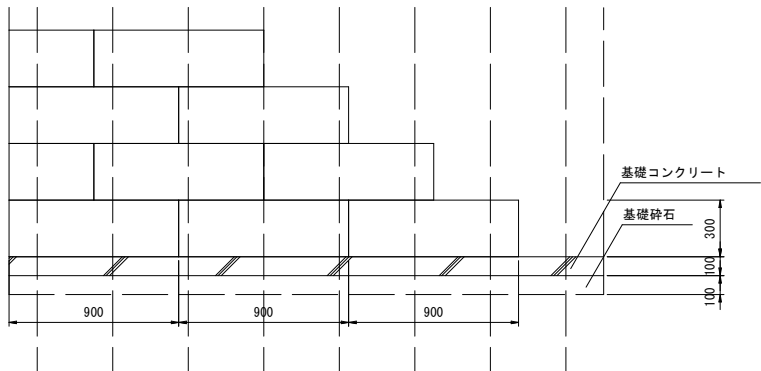
展開図 S=1:50



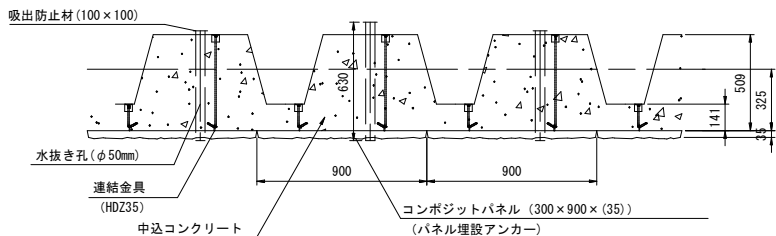
壁面材設置工標準図

S=1:20

〈展開図〉

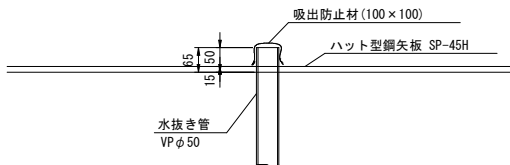


〈平面図〉



〈水抜き部詳細図〉

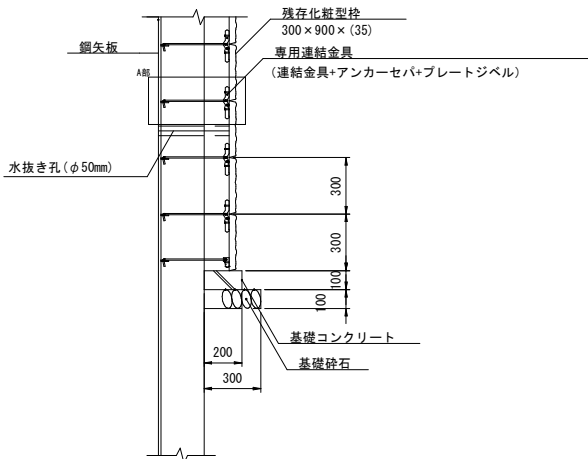
S=1:10



壁面材設置工標準図

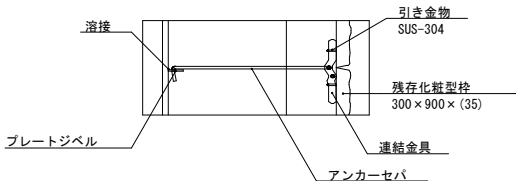
S=1:20

〈横断面図〉



〈A部詳細図〉

S=1:10

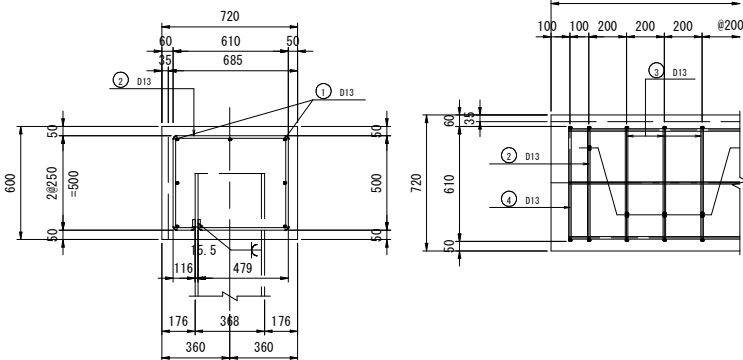


笠コンクリート詳細図

S=1:20

断面図

平面図



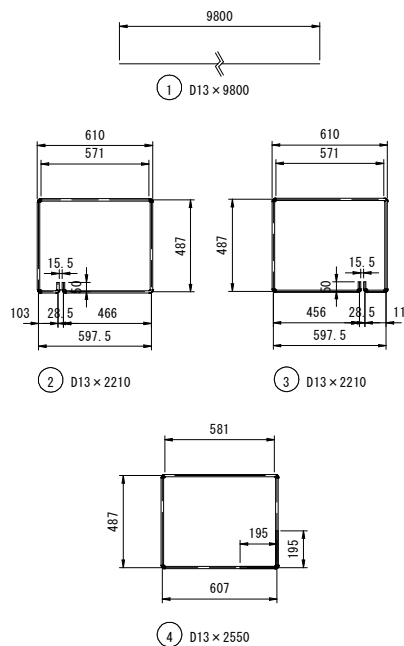
笠コンクリート鉄筋表

10.0m当り

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
①	D13	9800	9	0.995	9.751	88	—
②	D13	2210	19	0.995	2.199	42	□
②	D13	2210	30	0.995	2.199	66	□
③	D13	2550	1	0.995	2.537	3	□
合計					D13	199 kg	

鉄筋加工図

S=1:20

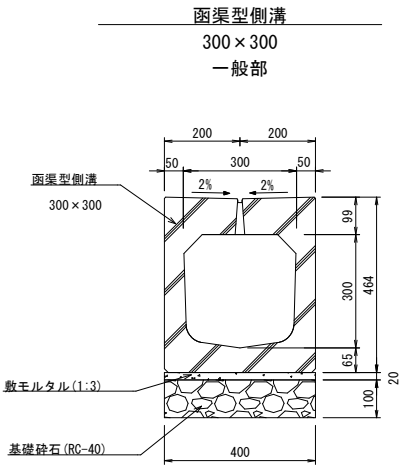


令和8年度
路線河海名 : 主要地方道 長沼船橋線
工事箇所 : 留志野市 実穂2丁目

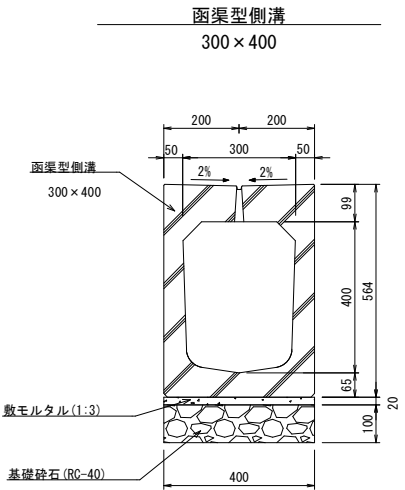
工事名	通学路緊急対策及15歳単交通安全対策合併工事 (実穂歩道敷設工その2)		
図面名	壁面工詳細図		
年月日			
縮尺	図示	図面番号	18 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

小構造物構造図(1)

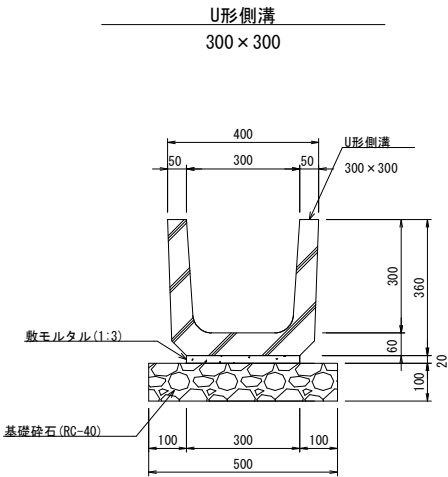
S=1:10



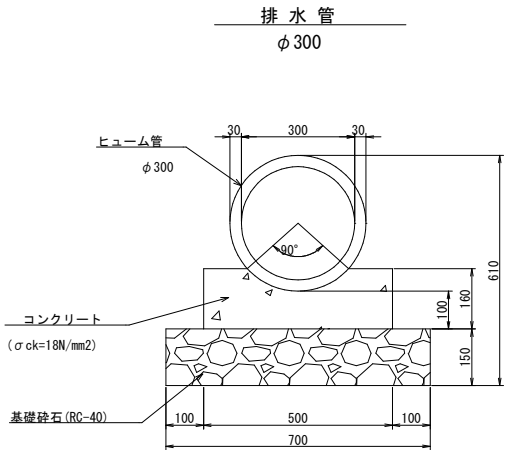
材料表 (一般部)				
名 称	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	摘 要
函渠型側溝	300×300、L=2000	個	5.0	511kg/個
敷モルタル	1:3	m3	0.08	
基礎砕石	RC-40、t=100mm	m2	4.0	



材料表				
名 称	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	摘 要
函渠型側溝	300×400、L=2000	個	5.0	571kg/個
敷モルタル	1:3	m3	0.08	
基礎砕石	RC-40、t=100mm	m2	4.0	



材料表				
名 称	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	摘 要
U形側溝	300×300、L=600	個	16.7	79kg/個
敷モルタル	1:3	m3	0.06	
基礎砕石	RC-40、t=100mm	m2	5.0	



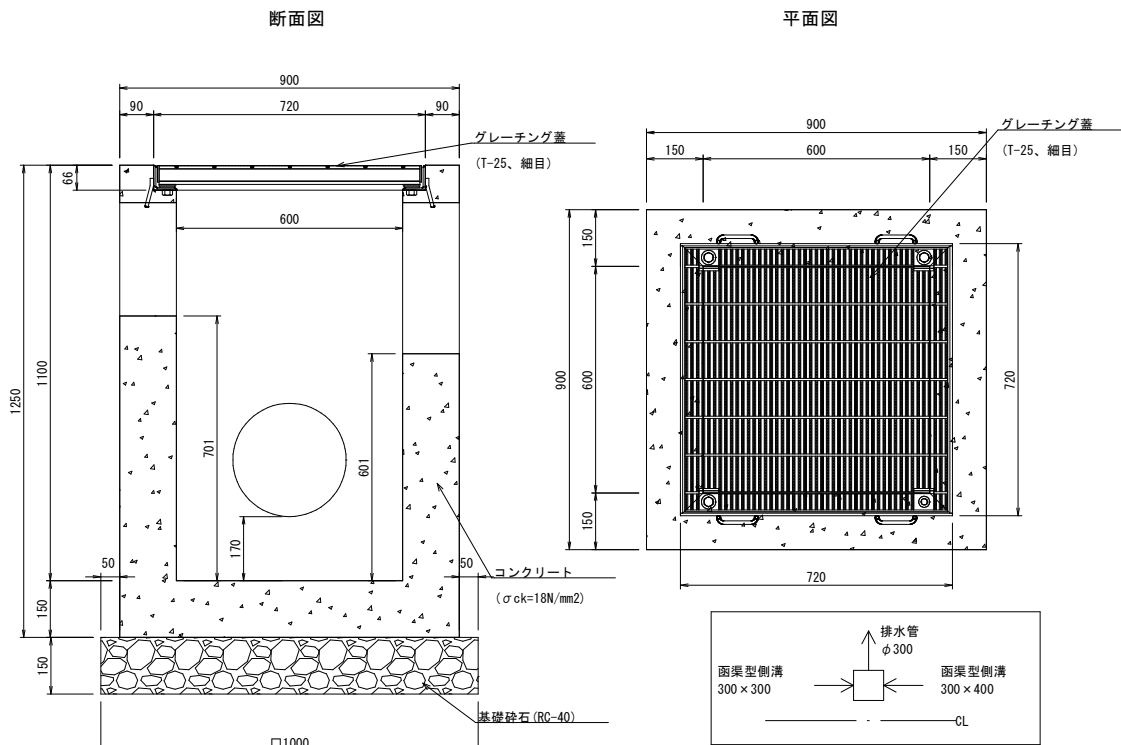
材料表				
名 称	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	摘 要
ヒューム管	φ 300 JIS A 5303、L=2.0m	本	5.0	165kg/個
コンクリート	σ ck=18N/mm2	m3	0.71	
型枠		m2	3.20	
基礎砕石	RC-40、t=150mm	m2	7.00	

令和8年度
路線河海名 : 主要地方道 長沼船橋線
工事箇所 : 習志野市 実稲2丁目

工事名	通学路緊急対策及び県単交通安全対策合併工事 (実稲歩道整備工その2)		
図面名	小構造物構造図(1)		
年月日			
縮 尺	S=1:10	図面番号	19 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

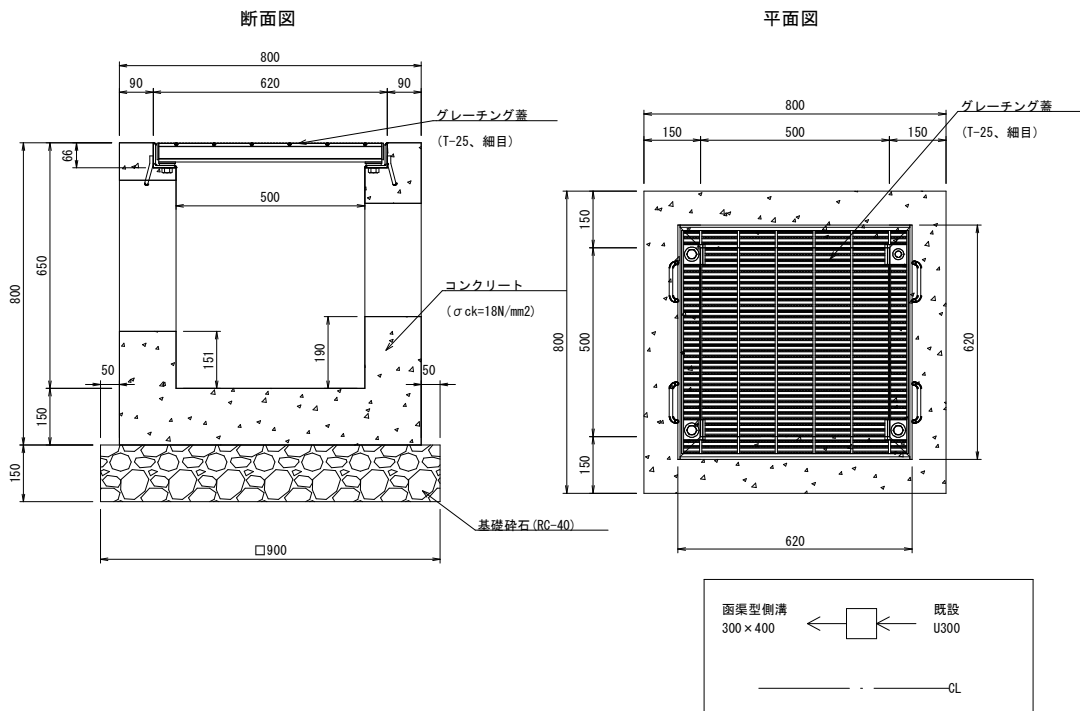
小構造物構造図(2)

集水樹 S=1:10
600×600×1100



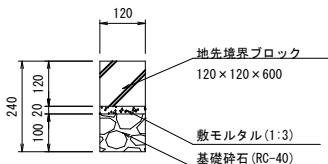
材料表 (10箇所当り)				
名 称	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	摘 要
グレーチング蓋	樹穴600×600、T-25、細目、ボルト固定式	組	10.0	86.4kg/組
型枠	小型構造物	m ²	71.0	
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	5.9	
基礎砕石	RC-40、t=150mm	m ²	10.0	

集水樹 S=1:10
500×500×650



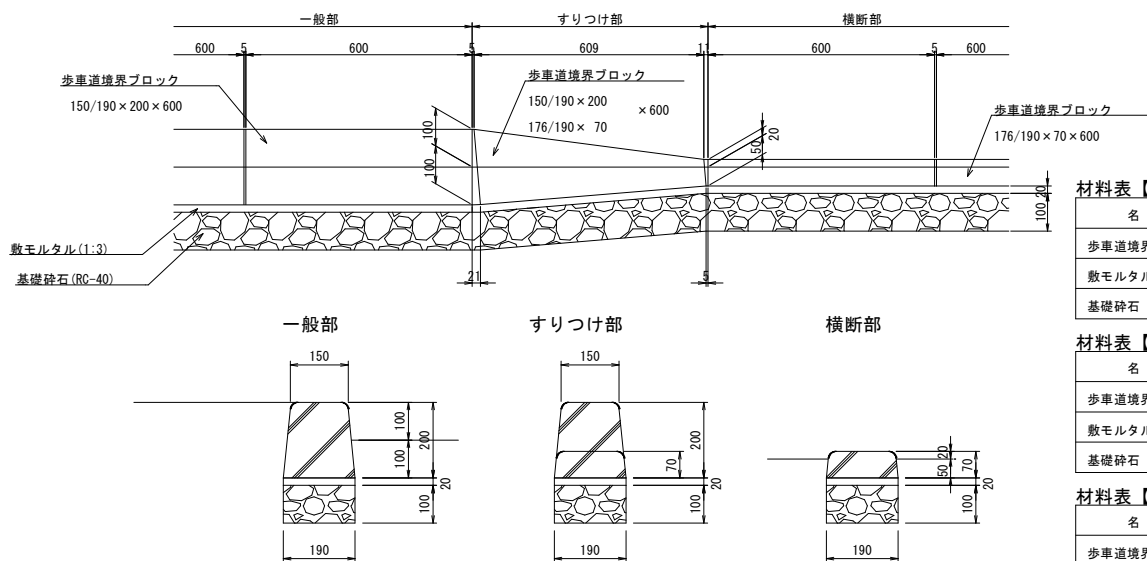
材料表 (10箇所当り)				
名 称	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	摘 要
グレーチング蓋	樹穴500×500 T-25、細目、ボルト固定式	組	10.0	65.5kg/組
型枠	小型構造物	m ²	38.2	
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	3.2	
基礎砕石	RC-40、t=150mm	m ²	8.1	

地先境界ブロック S=1:10
120×120



材料表 (10m当り)				
名 称	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	摘 要
地先境界ブロック	120×120×600	個	16.7	20kg/個
敷モルタル	1:3	m ³	0.02	
基礎砕石	RC-40、t=100	m ²	1.2	

歩車道境界ブロック S=1:10

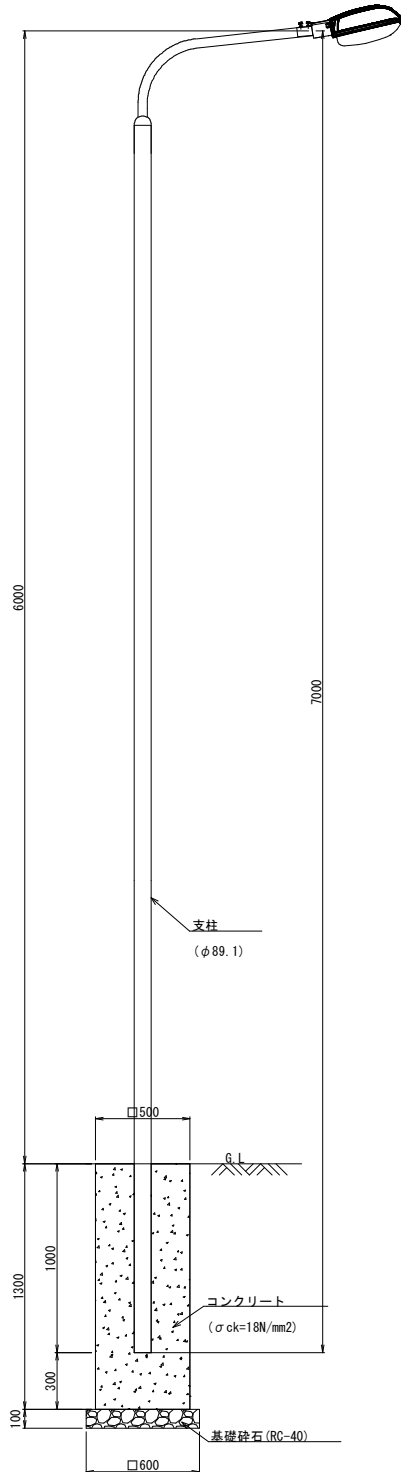


材料表【一般部】 (10m当り)				
名 称	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	摘 要
歩車道境界ブロック	150/190×200×600	個	16.5	18kg/個
敷モルタル	1:3	m ³	0.04	
基礎砕石	RC-40、t=100mm	m ²	1.9	

材料表【すりつけ部】 (10m当り)				
名 称	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	摘 要
歩車道境界ブロック	150/190×200×600	個	16.5	32kg/個
敷モルタル	1:3	m ³	0.04	
基礎砕石	RC-40、t=100mm	m ²	1.9	

材料表【横断部】 (10m当り)				
名 称	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	摘 要
歩車道境界ブロック	176/190×70×600	個	16.5	18kg/個
敷モルタル	1:3	m ³	0.04	
基礎砕石	RC-40、t=100mm	m ²	1.9	

照明灯再設置 S=1:20



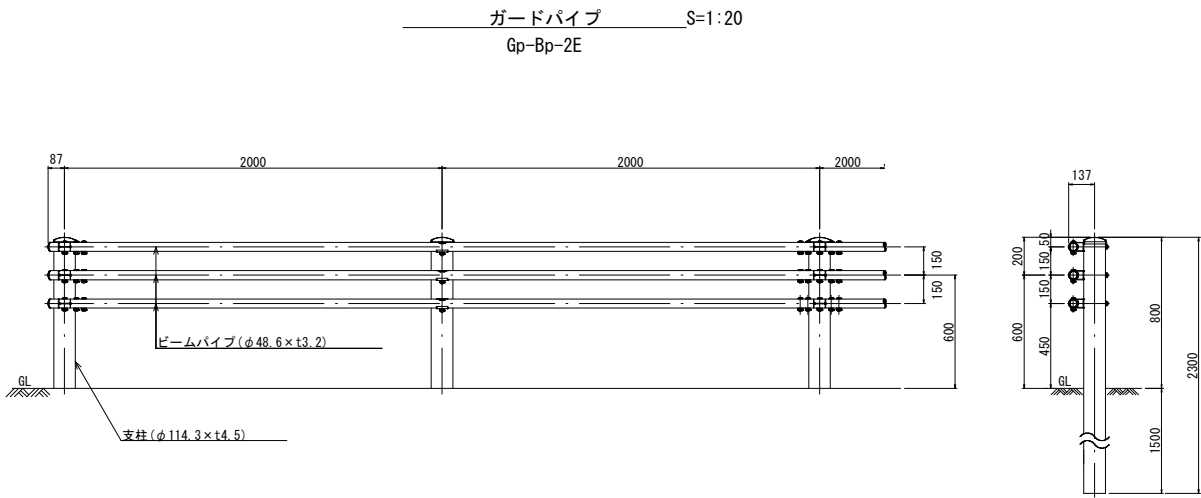
材料表 (10式当り)				
名 称	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	摘 要
灯具		基	10.0	再利用
支柱	φ89.1	本	10.0	再利用
型枠	小型構造物	m ²	26.0	
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	3.2	
基礎砕石	RC-40、t=100	m ²	3.6	

※灯具及び支柱は撤去品を再利用することを想定。

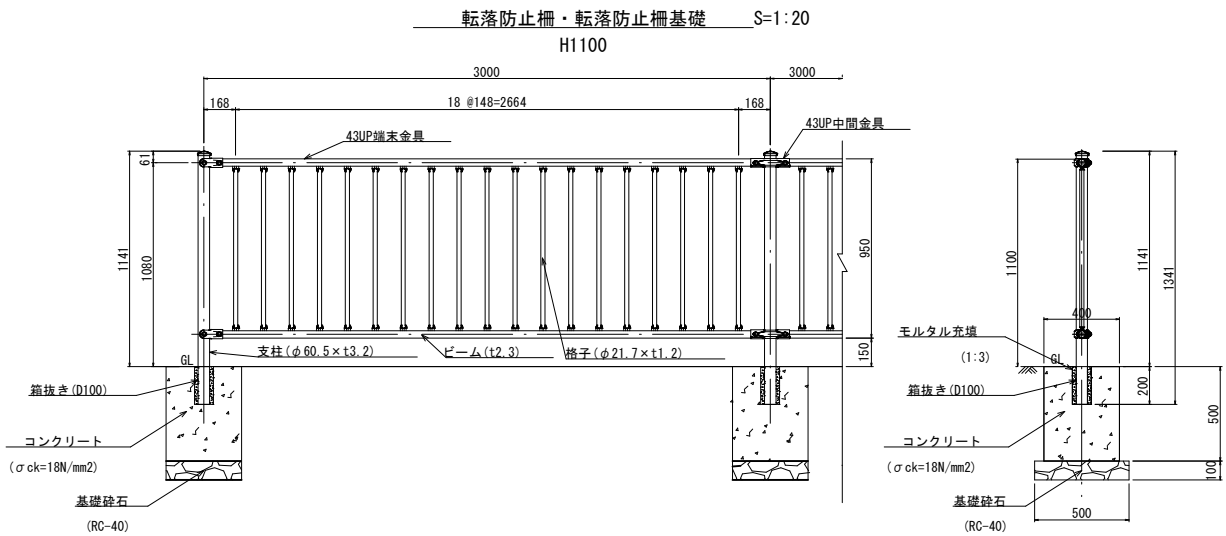
令和8年度
路線河海名 : 主要地方道 長沼船橋線
工事箇所 : 留志野市 実稲2丁目

工事名	通学路緊急対策及び県単交通安全対策合併工事 (実稲歩道整備工その2)		
図面名	小構造物構造図(2)		
年月日			
縮 尺	図示	図面番号	20 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

小構造物構造図(3)

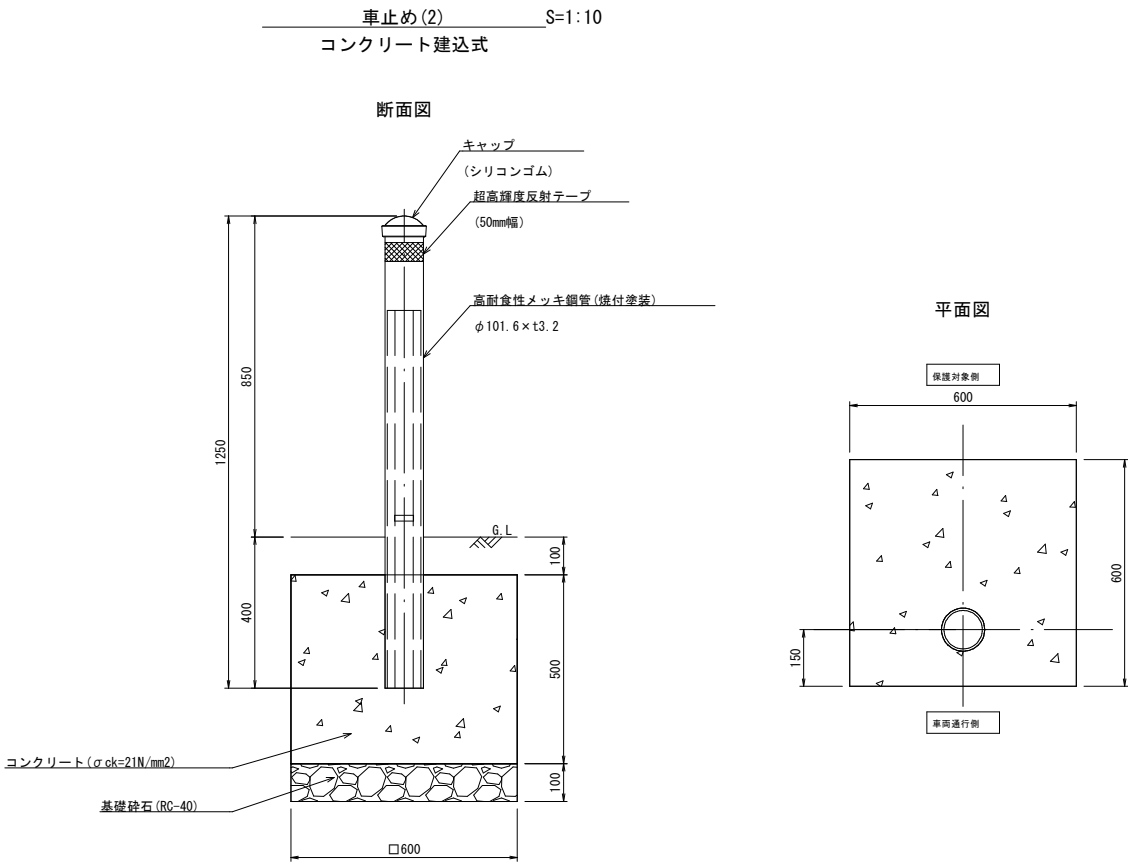


材料表 (10m当り)				
名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量	摘 要
ガードパイプ	Gp-Bp-2E	m	10.0	



材料表【転落防止柵】 (10m当り)				
名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量	摘 要
転落防止柵	H=1100, コンクリート建込	m	10.00	

材料表【基礎】 (10m当り)				
名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量	摘 要
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	0.41	
型枠		m2	3.33	
基礎砕石	RC-40、t=100mm	m2	0.83	



材料表 (10本当り)				
名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量	摘 要
支柱	高耐食性メッキ鋼管 (焼付塗装) φ101.6×t3.2	本	10.0	
型枠	小型構造物	m2	12.0	
コンクリート	σck=21N/mm2	m3	1.8	
基礎砕石	RC-40、t=100	m2	3.6	

令和8年度
路線河海名 : 主要地方道 長沼船橋線
工事箇所 : 留志野市 実穂2丁目

工事名	通学路緊急対策及び県単交通安全対策合併工事 (実穂歩道整備工その2)			
図面名	小構造物構造図(3)			
年月日				
縮 尺	図示	図面番号	21	／ 27
会社名				
事業者名	千葉県 千葉土木事務所			

小構造物構造図(4)

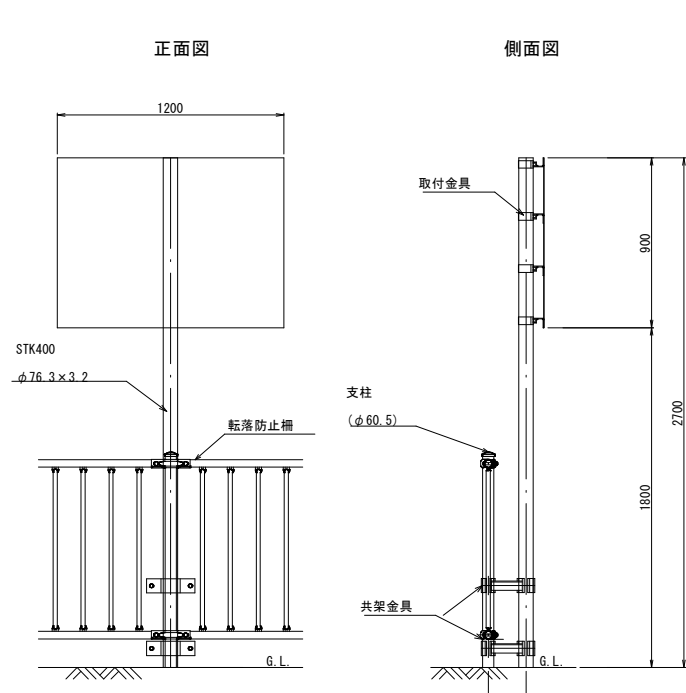
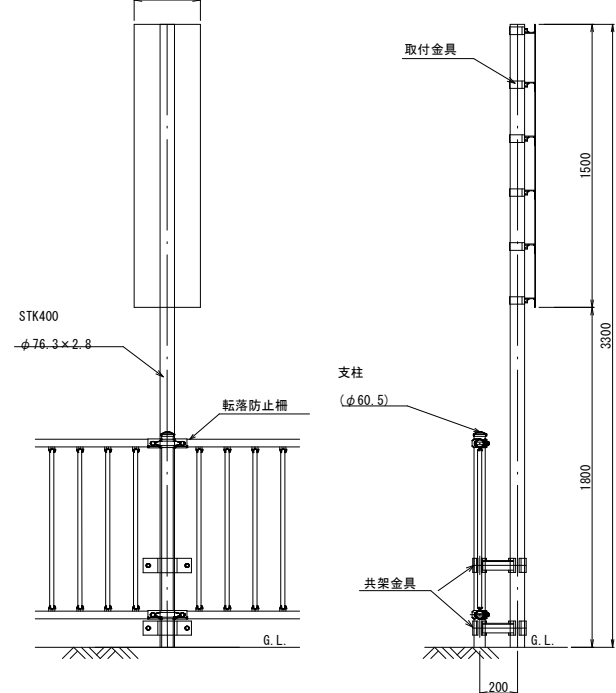
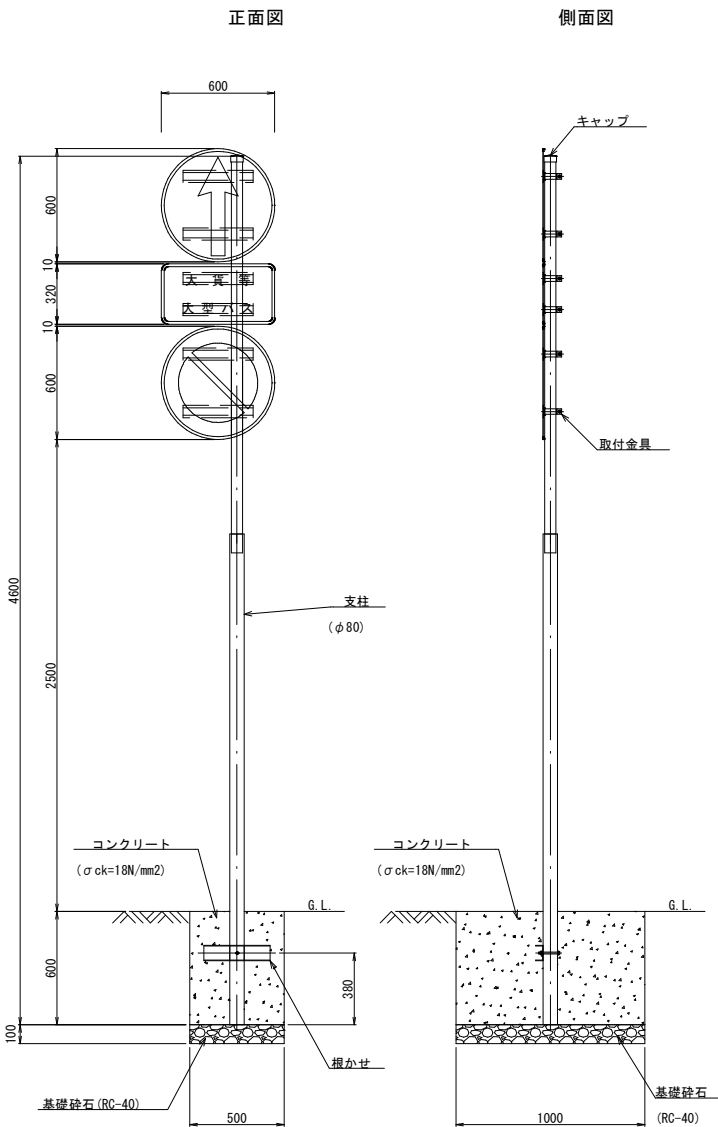
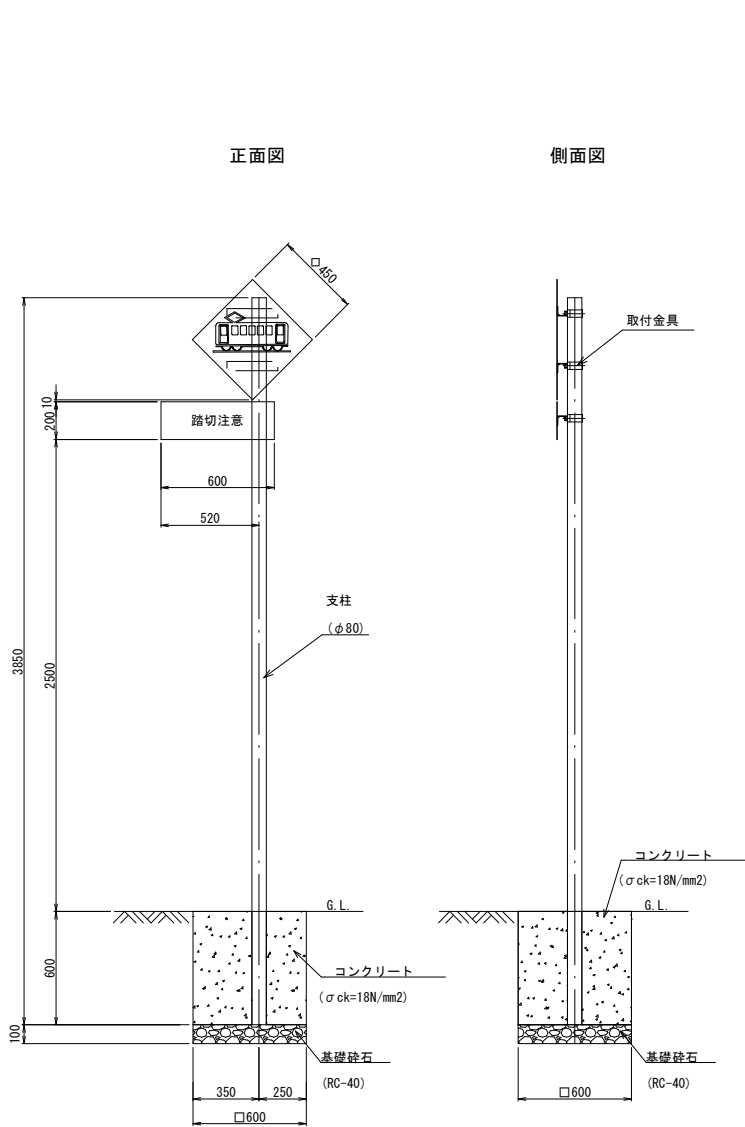
S=1:20

標識板再設置(1)/標識柱再設置(1)

標識板再設置(2)/標識柱再設置(2)

案内板再設置(1)

案内板再設置(3)



数量表					
種別	形状・寸法 (mm)		単位重量 (kg)	数量	重量 (kg)
STK	Pipe	φ76.3×2.8×3300	16.76	1	16.8
SS	PL	φ80×2.3	0.09	1	0.1
SS	PL	75×9×230	1.22	4	4.9
SS	PL	75×9×230	1.22	4	4.9
SS	C	100×50×5×7.5×165	1.54	2	3.1
	BOLT	M16×85		16	
	案内板	350×1500		1	

※1:規格は、鋼管をSTK400、鋼板をSS400とする。

※2:溶融亜鉛メッキはJIS H 8641による。

※3:案内板は撤去品を再利用することを想定。

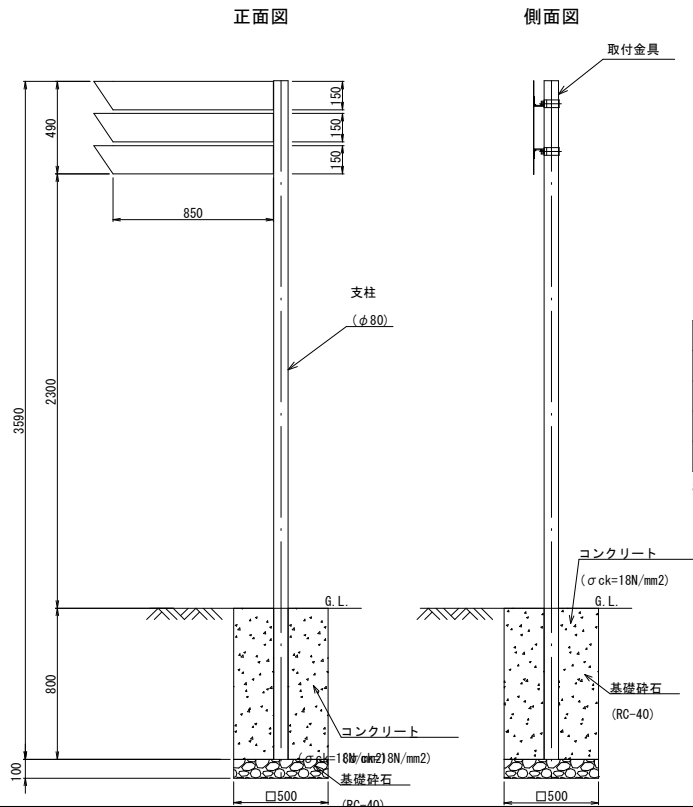
数量表					
種別	形状・寸法 (mm)		単位重量 (kg)	数量	重量 (kg)
STK	Pipe	φ76.3×3.2×2700	15.58	1	15.6
SS	PL	φ80×2.3	0.09	1	0.1
SS	PL	75×9×230	1.22	4	4.9
SS	PL	75×9×230	1.22	4	4.9
SS	C	100×50×5×7.5×165	1.54	2	3.1
	BOLT	M16×85		16	
	案内板	1200×900		1	

※1:規格は、鋼管をSTK400、鋼板をSS400とする。

※2:溶融亜鉛メッキはJIS H 8641による。

※3:案内板は撤去品を再利用することを想定。

案内板再設置(2)



数量表				
名 称	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	適 用
支柱	φ80	本	10.0	再利用
型枠	小型構造物	m2	14.4	
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	2.1	
基礎砕石	RC-40、t=100	m2	3.6	

※案内板は撤去品を再利用することを想定。

標識板再設置(1) 数量表				
名 称	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	適 用
警戒標識 207-B	◇450	枚	10.0	再利用
補助標識 509の2	200×600	枚	10.0	再利用

※標識板は撤去品を再利用することを想定。

標識柱再設置(1) 数量表				
名 称	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	適 用
支柱	φ80	本	10.0	再利用
型枠	小型構造物	m2	14.4	
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	2.1	
基礎砕石	RC-40、t=100	m2	3.6	

※標識柱は撤去後に再利用することを想定し、基礎部のみ新設として計上。

標識板再設置(2) 数量表				
名 称	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	適 用
規制標識 311-C	φ600	枚	10.0	再利用
補助標識 503-A	300×600	枚	10.0	再利用
規制標識 316	φ600	枚	10.0	再利用

※標識板は撤去品を再利用することを想定。

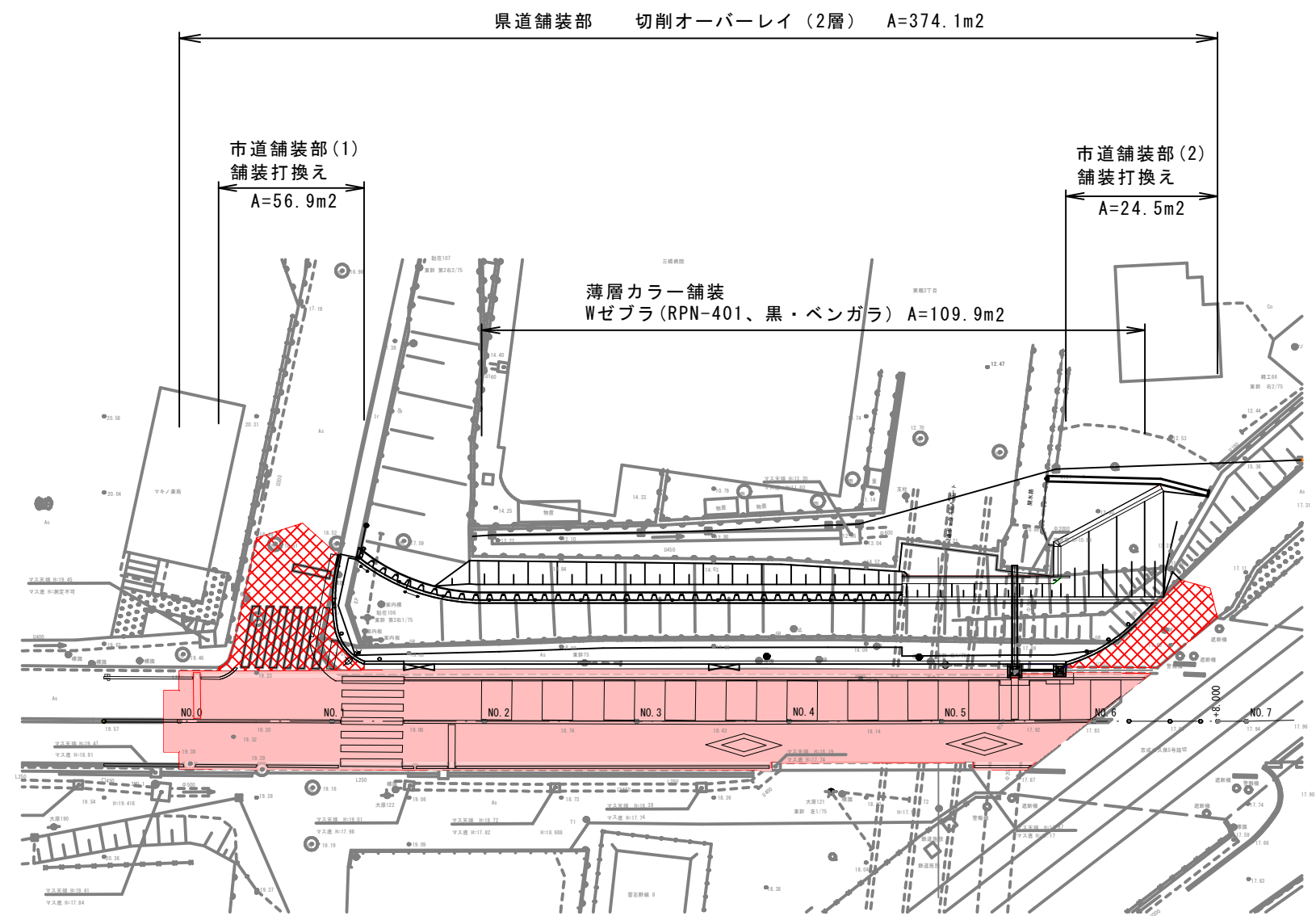
標識柱再設置(2) 数量表				
名 称	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	適 用
支柱	φ80	本	10.0	再利用
根かせ		組	10.0	
型枠	小型構造物	m2	18.0	
コンクリート	σck=18N/mm2	m3	3.0	
基礎砕石	RC-40、t=100	m2	5.0	

※標識柱は撤去後に再利用することを想定し、基礎部のみ新設として計上。

令和8年度
路線河海名 : 主要地方道 長沼船橋線
工事箇所 : 留志野市 実穂2丁目

工事名	通学路緊急対策及び商業交通安全対策合併工事 (実穂歩道整備工その2)		
図面名	小構造物構造図(4)		
年月日			
縮 尺	S=1:20	図面番号	22 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

舗装修繕平面図 S=1:200

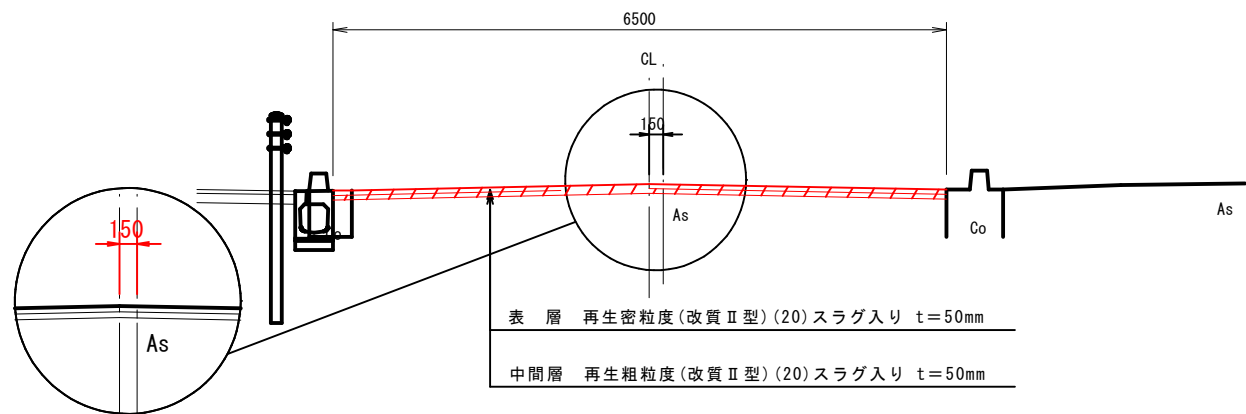


標準断面図 S=1:40

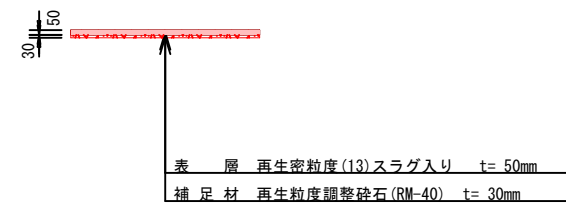
凡例

- 県道舗装部
- 表層 再生密粒度(改質Ⅱ型)(20)スラグ入り t=50mm
- 中間層 再生粗粒度(改質Ⅱ型)(20)スラグ入り t=50mm
- 市道舗装部(1)
- 市道舗装部(2)
- 表層 再生密粒度(13)スラグ入り t=50mm
- 補足材 再生粒度調整砕石(RM-40) t=30mm

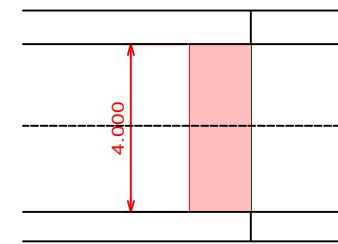
県道舗装部
切削オーバーレイ(2層)



市道舗装部(1)、(2)
舗装打換え



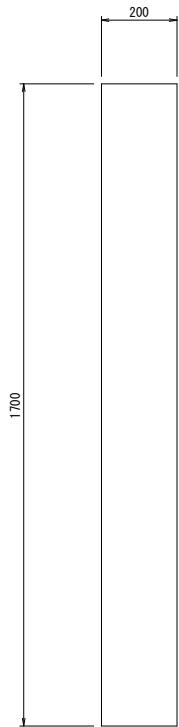
摺付部(起点)



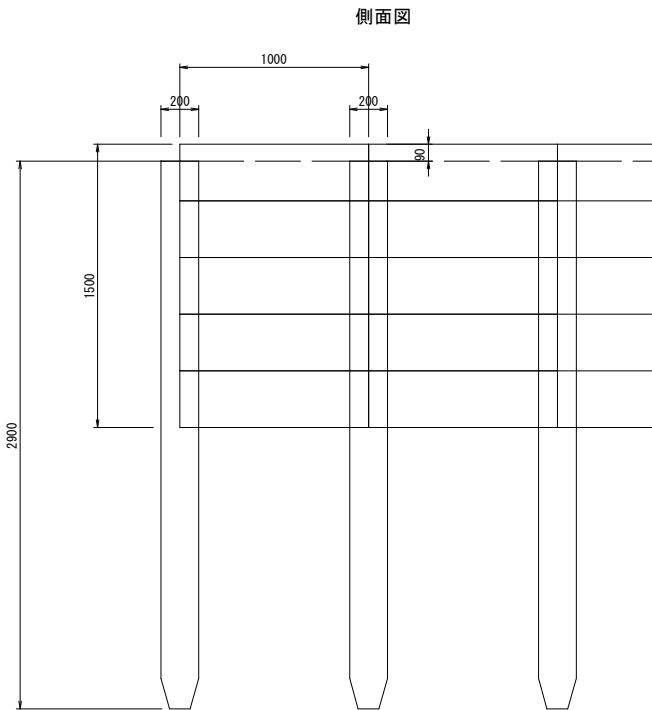
令和8年度 路線河海名: 主要地方道 長沼船橋線 工事箇所: 習志野市 実稲2丁目地先				
工事名	通学路緊急対策及び県単交通安全対策合併工事 (実稲歩道整備工その2)			
図面名	舗装修繕平面図、標準断面図			
年月日				
縮尺	図示	図面番号	23	/ 27
事業者名	千葉県 千葉土木事務所			

撤去構造図(1)

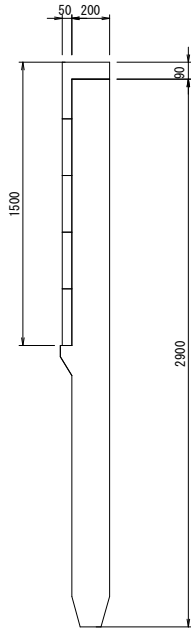
板柵土留撤去(1) S=1:10



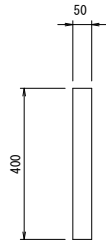
板柵土留撤去(2) S=1:20



断面図



板柵土留撤去(3) S=1:10



撤去数量表 (10m当り)

名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量
構造物取壊し	有筋コンクリート	m3	0.2

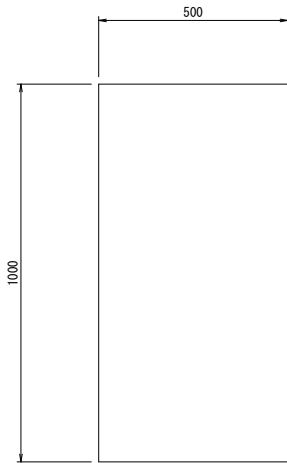
撤去数量表 (10m当り)

名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量
構造物取壊し	有筋コンクリート	m3	3.4

撤去数量表 (10m当り)

名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量
構造物取壊し	有筋コンクリート	m3	2.1

巻立コンクリート S=1:10

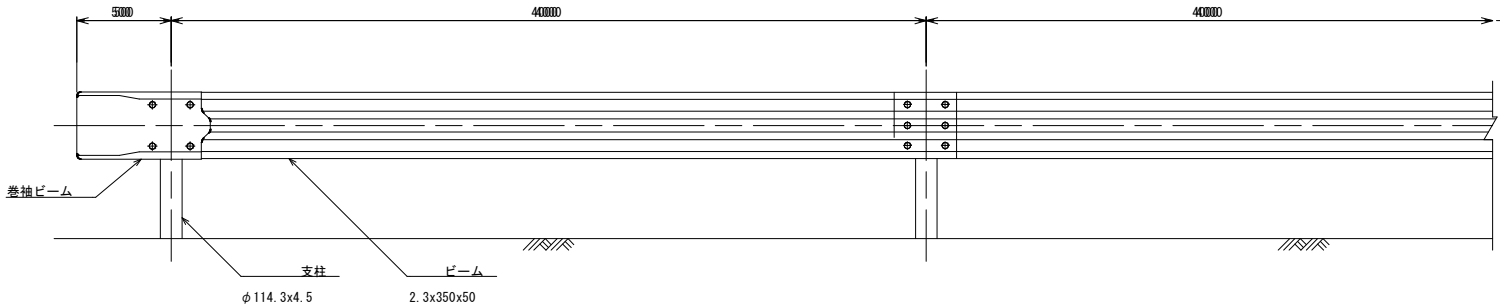


撤去数量表 (10m当り)

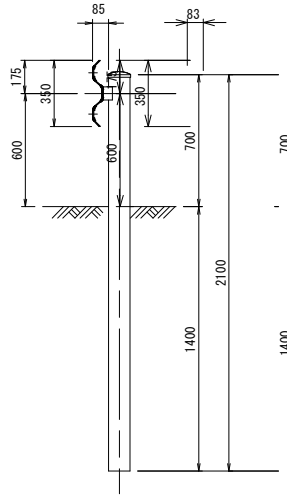
名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量
構造物取壊し	有筋コンクリート	m3	5.0

ガードレール撤去 S=1:20

側面図



断面図



撤去数量表 (10m当り)

名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量
現場発生品	スクラップ	t	0.2

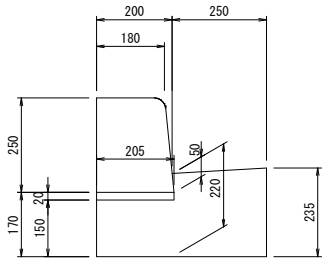
令和8年度
路線河海名 : 主要地方道 長沼船橋線
工事箇所 : 留志野市 実穂2丁目

工事名	通学路緊急対策及び危険箇所交通安全対策合併工事 (実穂歩道整備工その2)		
図面名	撤去構造図(1)		
年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	25 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

撤去構造図(2)

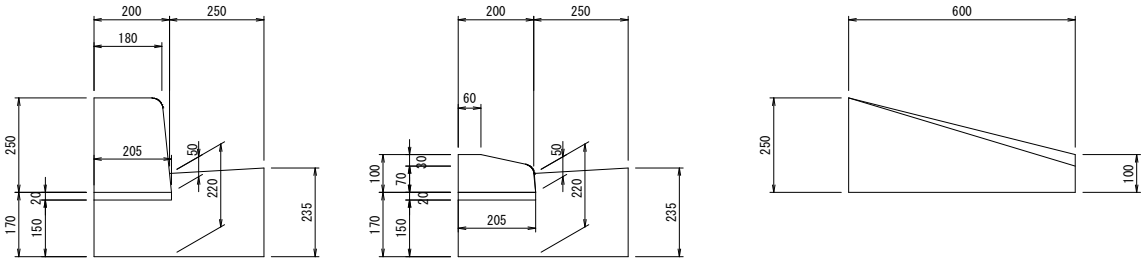
S=1:10

L型側溝撤去(1)
一般部



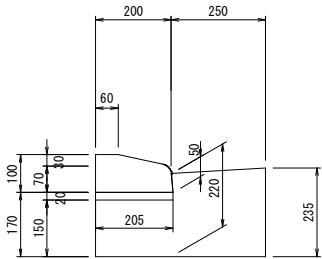
撤去数量表 (10m当り)			
名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量
構造物取壊し	無筋コンクリート	m3	1.4

L型側溝撤去(2)
すり付け部



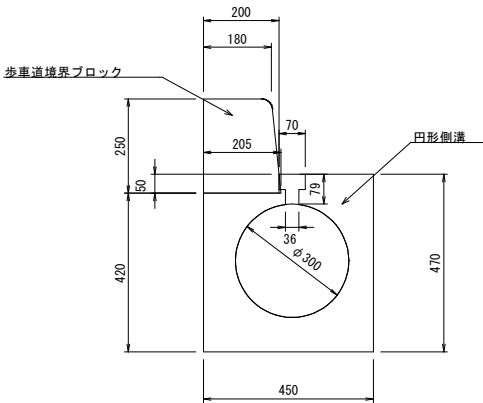
撤去数量表 (10箇所当り)			
名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量
構造物取壊し	無筋コンクリート	m3	0.8

L型側溝撤去(3)
切下げ部



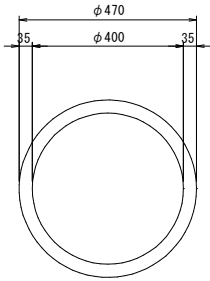
撤去数量表 (10m当り)			
名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量
構造物取壊し	無筋コンクリート	m3	1.1

円形側溝撤去
φ300



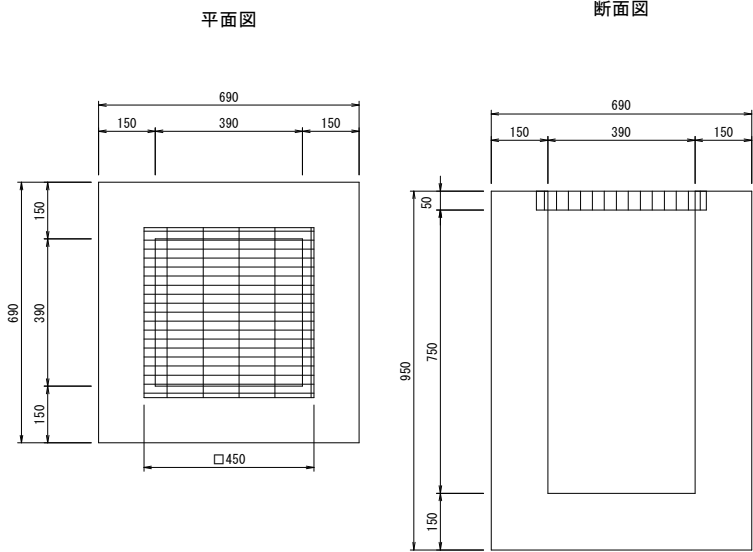
撤去数量表 (10m当り)			
名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量
構造物取壊し	有筋コンクリート	m3	1.3
	無筋コンクリート	m3	0.5

HP管撤去
φ400



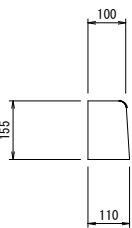
撤去数量表 (10m当り)			
名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量
構造物取壊し	有筋コンクリート	m3	0.5

集水樹撤去
□390×750



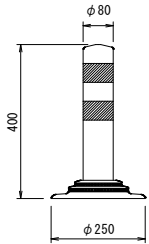
撤去数量表 (10箇所当り)			
名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量
構造物取壊し	無筋コンクリート	m3	3.3

歩車道境界ブロック撤去
一般部



撤去数量表 (10m当り)			
名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量
構造物取壊し	無筋コンクリート	m3	0.2

車線分離標撤去
H400



撤去数量表 (10本当り)			
名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量
運搬処理	現場発生品運搬	t	0.01

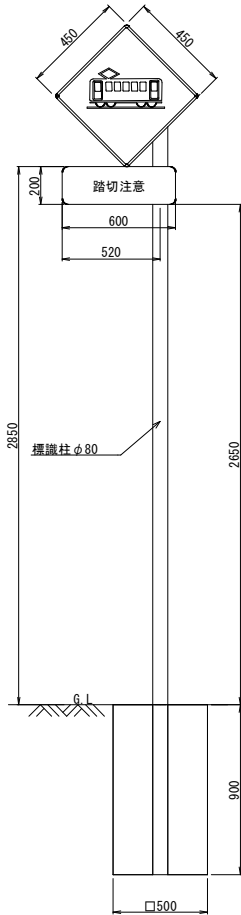
令和8年度
路線河海名 : 主要地方道 長沼船橋線
工事箇所 : 留志野市 実穂2丁目

工事名	通学路緊急対策及び低単交通安全対策合併工事 (実穂歩道整備工その2)		
図面名	撤去構造図(2)		
年月日			
縮 尺	S=1:10	図面番号	26 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		

撤去構造図(3)

S=1:20

標識板撤去(再利用)(1)/標識柱撤去(再利用)(1)



標識板撤去(再利用)(1) 撤去数量表

(10基当り)

名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量
警戒標識 207-B	◇450	枚	10.0
補助標識 509の2	200×600	枚	10.0

※標識板は撤去後に再設置することを想定。

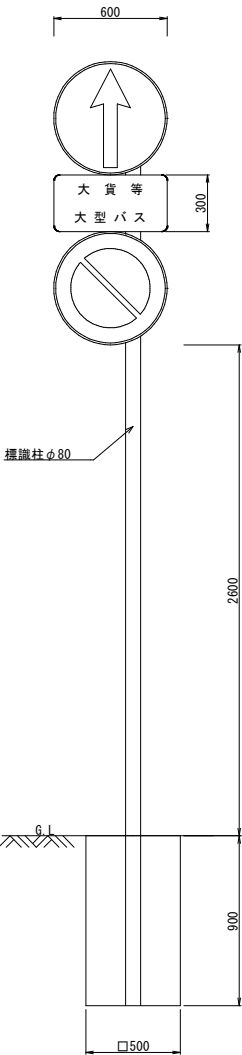
標識柱撤去(再利用)(1) 撤去数量表

(10基当り)

名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量
構造物取壊し	無筋コンクリート	m3	2.2

※標識柱は撤去後に再設置することを想定し、基礎コンクリート取壊しのみ計上。

標識板撤去(再利用)(2)/標識柱撤去(再利用)(2)



標識板撤去(再利用)(2) 撤去数量表

(10基当り)

名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量
規制標識 311-C	φ600	枚	10.0
補助標識 503-A	300×600	枚	10.0
規制標識 316	φ600	枚	10.0

※標識板は撤去後に再設置することを想定。

標識柱撤去(再利用)(2) 撤去数量表

(10基当り)

名 称	規 格 ・ 寸 法	単 位	数 量
構造物取壊し	無筋コンクリート	m3	2.2

※標識柱は撤去後に再設置することを想定し、基礎コンクリート取壊しのみ計上。

令和8年度
路線河海名 : 主要地方道 長沼船橋線
工事箇所 : 留志野市 実穂2丁目

工事名	通学路緊急対策及び県単交通安全対策合併工事 (実穂歩道整備工その2)		
図面名	撤去構造図(3)		
年月日			
縮 尺	S=1:20	図面番号	27 / 27
会社名			
事業者名	千葉県 千葉土木事務所		